型式名 （室内ユニット） （室外ユニット）
GHC-3534＋HT-A254
GHC-4034＋HT-A284

保証書付

取扱説明書

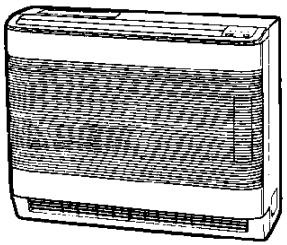
ガスルームエアコン

（室内ユニット） （室外ユニット）
HT-A3534FF＋HT-A254
HT-A4034FF＋HT-A284

このたびはガスルームエアコンをお買上げいただきましてありがとうございます。

●ご使用になる前にこの取扱説明書をお読みいただき正しくご使用ください。

●この取扱説明書の28ページが、保証書になっております。内容をよくご確認のうえ、大切に保管してください。



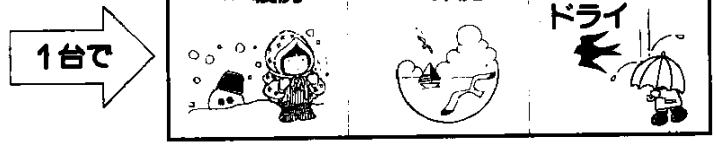
もくじ

●機能と特長 1
●各部の名称とはたらき 3
●お使いになる前に 7
●操作のしかた
○自動運転のしかた 10
○暖房運転のしかた 12
○冷房運転のしかた 13
○ドライ運転のしかた 14
○タイマー運転のしかた 15
○おやすみ運転のしかた 17
○送風運転のしかた 19
○本体操作部での運転のしかた 19
○風向調節のしかた 20
●使用上のご注意 21
●日常の点検とお手入れ 23
●故障かな？と思ったら 24
●アフターサービスについて 25
●長期間使用しない場合 25
●仕　様 26
●保証書 28

TOKYO GAS

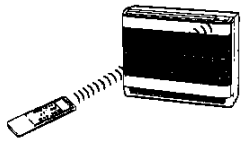
機能と特長

はじめまして。
ガスルームエアコン「HT-A3534FF・HT-A4034FF」は、年間を通して快適に過ごしていただくため、次のような特長をそろえました。ぜひ、皆様の暮らしにお役立てください。



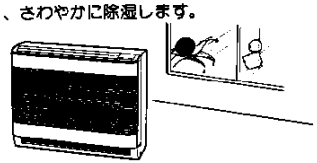
リモコン運転 （7ページ参照）

リモコンで、離れたところからでも簡単に運転モードが切換えできます。



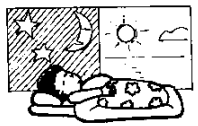
ドライ運転 （14ページ参照）

梅雨どきなどに、室温をほとんど変えることなく、さわやかに除湿します。



タイマー運転 （15ページ参照）

ご希望の時刻にセットしておけば、タイマーが自動的に運転をON・OFFします。



ガス比例制御（暖房時）

室温の変化に応じて、暖房能力をきめ細かく調節し、室温変化の少ない、より快適な暖房を行います。

インバータ冷房

室温の変化に応じて冷房能力をきめ細かく調節し、室温変化の少ない、より快適な冷房を行います。

冷房上下左右自動首ふり （20ページ参照）

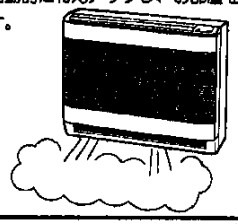
冷房時は上部吹出口から上下左右にスイングする冷風を送風。下部吹出口からの送風と合わせ、自然な涼風感をあたえます。
また、暖房時、設定室温になると上部吹出口からも送風を開始、下部吹出口の温風感をおさえたマイルドな暖房感を与えます。

おやすみ運転 (17ページ参照)

おやすみ ボタンでセットした時間に運転を停止します。
暖房時は30分ごとに1℃(最高4℃まで)設定室温を下げ、冷房時は30分ごとに1℃(最高2℃まで)設定室温を上げ、睡眠に適した運転を行います。

ホットダッシュ運転(暖房時)

室温15℃以下から運転を始めるとき、暖房能力を自動的に15%アップし、お部屋を早く暖めます。



ナイスオン予約 (15ページ参照)

マイコンが朝の室温をチェック、おめざめ時にお部屋の温度が設定室温になっているようタイマーセット時刻より早めに運転を開始します。

自動運転 (10ページ参照)

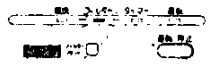
運転の種類を「自動」にすることにより、スイッチON時の室温に応じて「暖房」「ドライ」「冷房」運転を自動的に選択して運転します。
また風速も自動的に選択します。

メモリールーバー (20ページ参照)

「冷房」・「ドライ」・「送風」運転時、自動風向 ⓒボタンを押すと、上下風向板をスイングさせたり、お好みの位置で停止させたりできます。運転を停止すると自動的に上下風向板が閉じますが、マイコンが位置を記憶していますので次回運転からは自動的にスイングしたり、前回セットの位置になります。

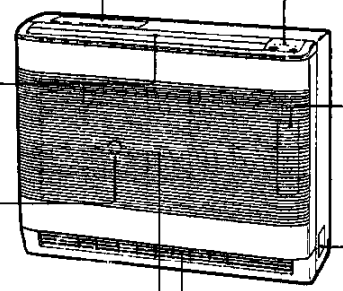
フィルターサイン (23ページ参照)

エアーフィルターへのほこり詰まりをランプで知らせます。
暖房時はほこりがたまったとき、冷房・送風・ドライ時は約100時間運転したとき「フィルターランプ」が点灯します。



各部の名称とはたらき

室内ユニット



注意ラベル
「使用上のご注意」「操作のしかた」を表示しています。

上部吹出口
運転時に開きます。
「冷房」「ドライ」時は冷風が、「暖房」「送風」時は室温に近い風が出ます。

エアーフィルター
空気吸込みグリルの内側にあり、空気中のほこりを取り除きます。
本体表示部のフィルターランプが点灯したら、空気吸い込みグリルを外して掃除してください。
(23ページ参照)

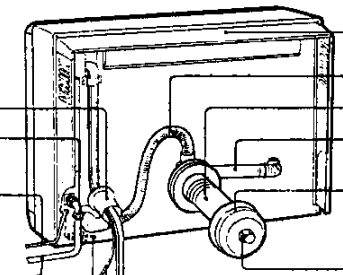
空気吸込みグリル

本体表示部 本体操作部
各種のランプ表示と、本体操作部があります。
(右ページ参照)

リモコン収納部
リモコンを収納します。収納したままでもリモコン運転が可能です。ふた上部の「押す」部分を押すと、ふたが開きます。

銘板
ガス種、電源等を表示しています。

下部吹出口
「暖房」時は温風が、「冷房」「ドライ」「送風」時は室温に近い風が出ます。



背面カバー

給気筒

給排気筒トップ

排気筒

給気口
燃焼用空気を吸い込みます。

排気口
燃焼排ガスが出ます。

保護パイプ(別売品)

ガス接続口

電源コード

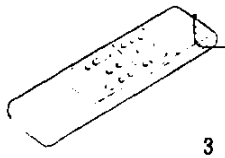
ガス配管

室温センサー
室温を感知します。

冷媒配管と連絡電線

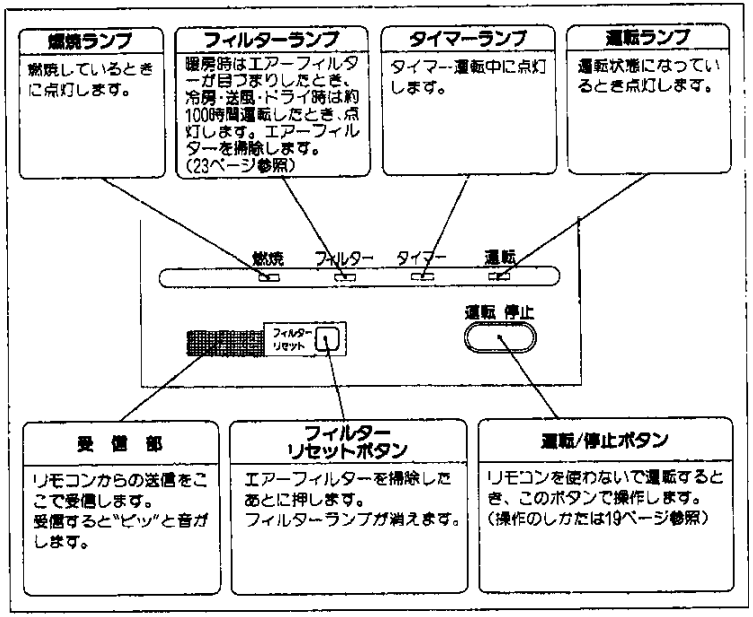
ドレンホース

リモコン

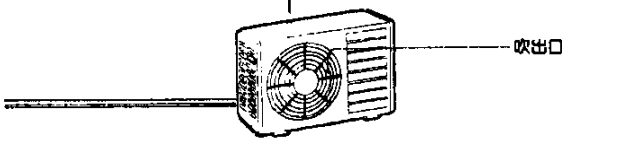


送信部
送信するときは、室内ユニットの受信部に向けてください。
(7ページ参照)

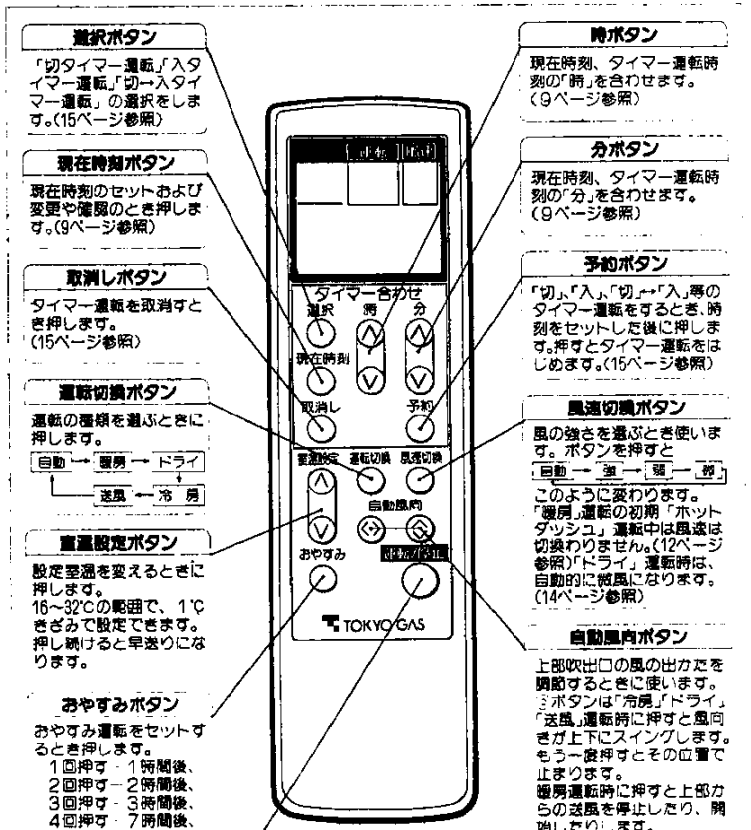
●本体表示部・本体操作部



室外ユニット

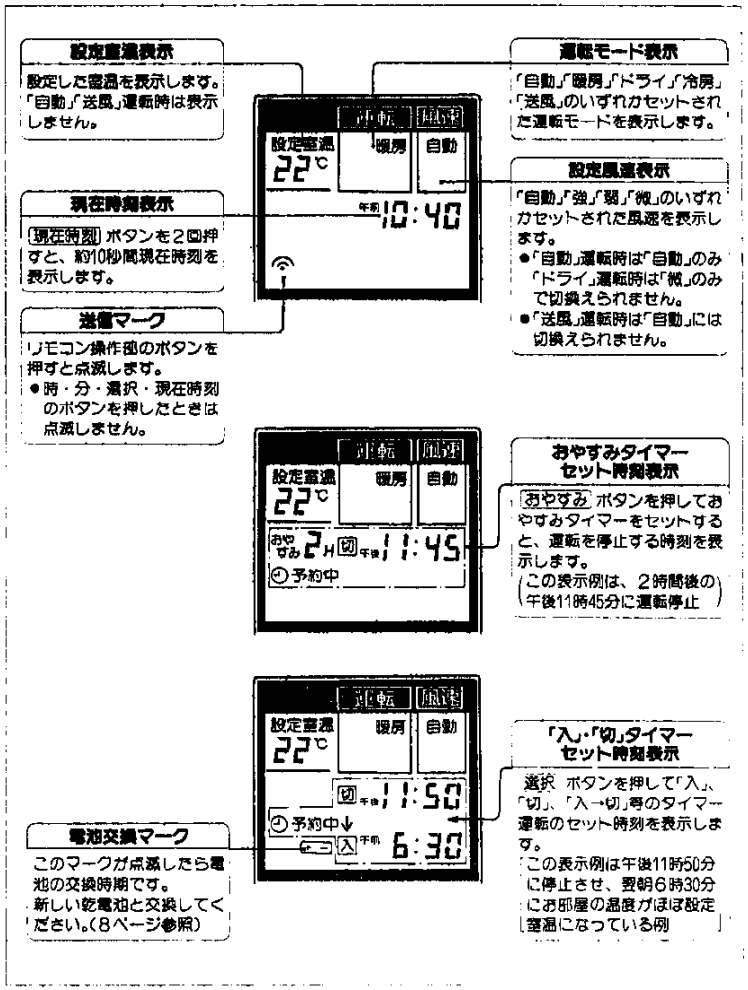


●リモコン操作部



…各部の名称とはたらき

●リモコン表示部



お使いになる前に

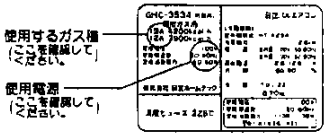
ガスルームエアコンを使い始める前に、次の準備を行ないます。

運転をはじめる前の確認

●ガスと電源の種類を確認します。

●この機器(室内ユニット)は都市ガス用です。12A、13A以外のガスでは使用しないでください。

●銘板に表示してある電源(電圧・周波数)以外の電源では使用しないでください。



●周囲に燃えやすいものがないか確認します。

カーテンなど、燃えやすいものが冷温風吹出口や空気吸込口の近くにないか、また本体背面部にはさまれていないか確認します。また、ヘアスプレーなど、引火物を近くでご使用なさらないでください。

●本機のフロアーでご使用の場合、フロアー表面が温風で乾燥しサラサラ(白い粉が出ることもある)になることがありますので、温風吹出口前方1m位までカーペットなどを敷きフロアー表面を保護してください。

リモコンの準備

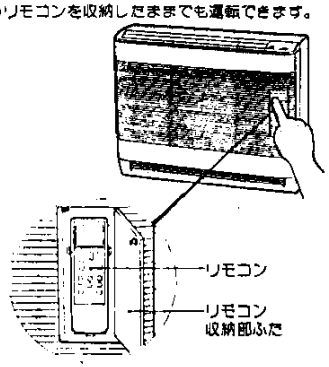
リモコンの取り外し・収納のしかた

●空気吸い込みグリル部にリモコンが収納してあります。

●収納部ふたの 押す の部分を押すと開きますから、リモコンを前方に引き抜いてください。

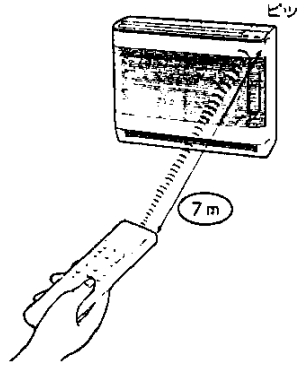
●収納するときはリモコン全体を収納部へ押して取り付けます。

●リモコンを収納したままでも運転できます。



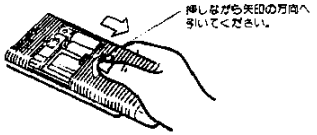
リモコンの取扱いについて

リモコンを、本体正面で受信部とほぼ同じ高さから、信号が本体受信部へ正しく送信できるよう、送信部を受信部へ向けて操作します。
ただし、"ピッ"という本体からの受信音がない場合は、運転が開始されませんので再度操作してください。(受信距離は7mまでです。)



電池セット(交換)のしかた

単4形アルカリ電池(1.5V)を2個使います。



1 リモコン裏面のフタを矢印の方向へあけます。

2 新しい電池を入れます。
⊕(プラス)・⊖(マイナス)はケースの表示どおりに入れてください。

注意
- 電池は、古いものや、種類のちがうものをまぜて使わないでください。誤動作することがあります。
- 電池の漏液による故障をさけるため、長い間お使いにならないときは電池を全部取り出してください。
- 通常のご使用で電池の寿命は約1年です。
- リモコン表示部の左下に電池マークが出ましたら電池を交換してください。電池を交換した後は時計を合わせてください。(9ページ参照)
- お買い求めいただき、初めて使用する場合は、同梱されております電池を上記の要領でセットして使用してください。

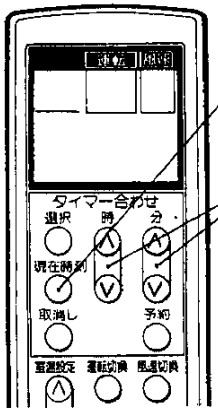
注意
- 本体とリモコンの間にカーテン、ふすまなど信号をさえぎるものがあると作動しません。
- リモコンにジュースや水等の液体がかからないように注意してください。
- リモコンを直射日光の当たる所や、ストーブなどの近くに置かないでください。
- 本体(受信部)に直射日光が当たる場合、エアコンが正しく動作しないことがあります。カーテンなどでさえぎってください。
- 電子式点灯方式の蛍光灯がある部屋では、信号を受けつけない場合があります。あらたに蛍光灯を買われる場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 運転中に 運転切換 ボタンを押すと、運転を停止します。再度 運転 停止 ボタンを押してください。
- リモコンで他の電気機器が動作する場合は、電気機器を離すか、お買い求めの販売店にご相談ください。

時計の合わせかた

運転する前に次の手順で現在時刻を合わせます。

最初に時間を合わせるとき

電池を入れた後の時計表示は 18:88 が点滅します。



1 現在時刻 ボタンを押します。
時計表示は 0:00 が点滅します。

2 時 ボタン、分 ボタンを押して、現在の時刻に合わせます。(表示は点滅しています。)
∧を押すと時刻が進み、∨を押すと時刻が戻ります。
10:30 (午前10時30分の例)

注意 ●午前と午後をまちがえないように合わせてください。

3 現在時刻 ボタンをもう一度押します。
時計表示が点灯に変わり、時計が動き始めます。
10:30 10秒後に消灯します。

※現在時刻を確認したいときは、現在時刻 ボタンを2回押します。
10秒間現在の時刻を表示したのち、消灯します。

時計を合わせ直すとき

午後9時40分を午後10時40分に合わせ直す例

1 現在時刻 ボタンを押します。
時計表示は 9:40 点滅します。

2 時 ボタン、分 ボタンを押して、現在の時刻に合わせます。(表示は点滅しています。)
10:40

3 現在時刻 ボタンをもう一度押します。
時計表示が点灯に変わり、時計が動き始めます。
10:40 10秒後に消灯します。

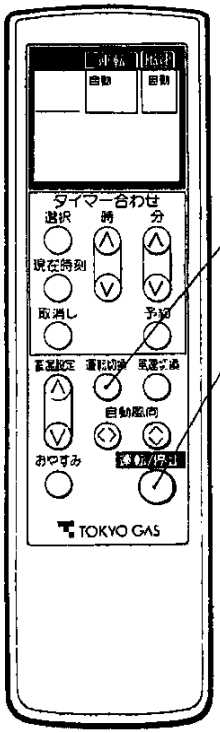
HT-A3534FF
HT-A4034FF
HT-A2554
HT-A2284
GHC-3534
GHC-4034
HT-A2554
HT-A2284
8899
5500
0000
0753
8443
6633
4578
1
3
0
5
1

操作のしかた …➡

お使いになられるときは、21ページの「使用上のご注意」も併せてお読みください。
もし、異常と思われたら直ちに使用を中止し、お買い求めいただいた販売店、またはお近くの東京ガスへご連絡ください。

自動運転のしかた

自動運転は、エアコンが運転開始時の室温に応じて、暖房、ドライ、冷房のいずれか一つの状態を自動的に選んで運転します。
なお、運転中に室温が変化しても、運転の種類は切換わりません。



準備 電源プラグをコンセントに差し込みます。

1 運転切換 ボタンを押して、"自動"にします。
●風速は「自動」を表示します。

2 運転 停止 ボタンを押します。
●本体表示部の「運転」ランプが点灯し、室温に応じた運転を行ないます。

停止 運転 停止 ボタンをもう一度押します。

設定室温について

自動運転では次のように室温が自動的に設定されます。
暖　房……22℃
ドライ……室温より少し低い温度になります。
冷　房……27℃

"あつすぎる"あるいは"さむすぎる"と感じたときは、設定室温を調節することができます。(暖房・冷房のみ)

調節できる範囲は、高めに3℃、低めに3℃までです。

それぞれ1回押すごとに1℃ずつ変わります。

こんなときには

●再度、自動運転されるとき

"あつすぎる"あるいは"さむすぎる"と感じ、設定室温を一度調節すると、その設定室温がマイコンに記憶されますので、次からは「運転/停止ボタン」を押すだけで、その設定室温で再び同じ運転が開始されます。

●自動運転の設定内容がご希望に合わないとき

運転切換ボタンで"冷房"「暖房」"ドライ"「送風」のいずれかを選んでください。
(P12~14参照)

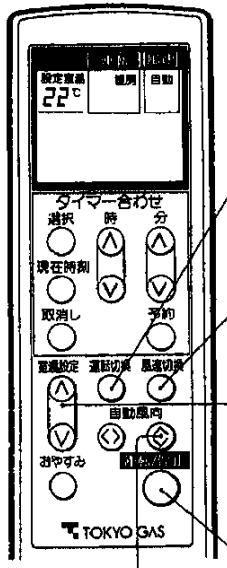
自動運転について

●エアコンが室温に応じて、暖房、ドライ、冷房のいずれか1つの状態を自動的に選んで運転します。

運転開始時の部屋の温度	自動運転の内容		
	運転の種類	設定室温	風速
約27℃以上 ➡	冷房	27℃	室温に応じて"強風"→"弱風"→"微風"に変ります。
約22℃以上～27℃未満 ➡	ドライ	室温より少し低い温度になります。	"微風"で運転します。
約22℃未満 ➡	暖房	22℃	室温に応じて"強風"から"弱風"まで比例してきめ細く調節します。

注意
●「自動」運転では、設定室温が表示されません。
設定室温を変更したときに、"ピッ"という室内ユニットの受信音で変更したことを確認してください。(暖房・冷房のみ)
●設定室温と部屋の温度は、使用環境によって多少異なることがあります。
●「自動」運転時は、風速の切換えはできません。

暖房運転のしかた



準備 電源プラグをコンセントに差し込みます。

1 運転切換 ボタンを押して"暖房"にします。
設定室温が表示されます。

2 風速切換 ボタンを押して、お好みの風速にします。
- ●自動：室温に応じて自動的に風速が変わり、風による肌寒さの少ない快適な運転を行います。
- ●強　：風速を上げて温風の循環をよくします。（風による肌寒さを感じることがあります。）
- ●弱　：マイルドな温風感を与える風を送り、静かな運転を行います。
- ●微　：よりマイルドな温風感を与える風を送り、より静かな運転を行います。

3 室温設定 ボタンを押して、お好みの温度にします。
- ●16～32℃の間で設定できます。
- ●暖房運転のおすすめ設定室温は20～24℃の範囲です。

設定室温 22℃ 例えば22℃に設定すれば、お部屋の温度をほぼ22℃にし、運転します。

4 運転/停止 ボタンを押します。
- ●本体表示部の「運転」ランプが点灯し、暖房運転を行ないます。
- ●室温が15℃以下のときは、自動的に"ホットダッシュ"運転（2ページ参照）になります。

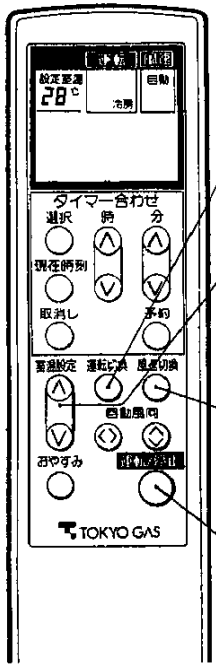
5 室温が設定室温になると上部吹出口からも送風を開始し、下部吹出口の温風感をおさえたマイルドな暖房を行います。
自動風向 ボタンを押すと上部からの送風を停止し上部吹出口が閉じます。

停止 運転/停止 ボタンをもう一度押します。

ご注意
- ●設定室温と部屋の温度は使用環境によって多少異なることがあります。
- ●ホットダッシュ時は風速切換えはできません。
- ●"微風"で長時間運転されるとお部屋がよく暖まらないことがあります。
- ●設定室温が現在室温より低いと運転しません。（ただし、運転ランプは点灯します。）
- ●一度セットすると、その運転内容がマイコンに記憶されますので、次からは 運転/停止 ボタンを押すだけで、その内容で再び同じ運転が開始されます。

冷房運転のしかた

冷房運転は外気の温度が22℃～42℃の範囲でお使いください。



準備 電源プラグをコンセントに差し込みます。

1 運転切換 ボタンを押して"冷房"にします。
設定室温が表示されます。

2 室温設定 ボタンを押して、お好みの温度にします。
- ●16～32℃の間で設定できます。
- ●冷房運転のおすすめ設定室温は25～28℃の範囲です。

設定室温 28℃ 例えば28℃に設定すれば、お部屋の温度をほぼ28℃にし、運転します。

3 風速切換 ボタンを押して、お好みの風速にします。
- ●"自動"：運転開始時は"強風"で、セットした温度になると"微風"に自動的に変わります。
- ●"強風"：冷えが速く経済的な運転を行います。
- ●"弱風"：静かな運転を行います。
- ●"微風"：より静かな運転を行います。

（風向調節のしかたは20ページを参照してください。）

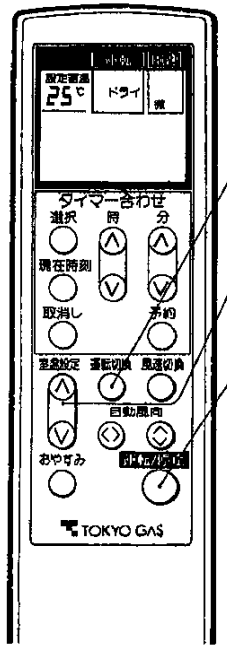
4 運転/停止 ボタンを押します。
- ●本体表示部の「運転」ランプが点灯し、冷房運転を行ないます。

停止 運転/停止 ボタンをもう一度押します。

注意
- ●設定室温と部屋の温度は使用環境によって多少異なることがあります。
- ●部屋の温度より設定室温が高い場合は冷房運転をしません。（本体表示部の運転ランプは点灯します。）設定室温を下げますと冷房運転を開始します。
- ●部屋の湿度が高いとき（80%を超えるようなとき）は、室内ユニットの吹出し口などに露がつくことがあります。
- ●一度セットすると、その運転内容がマイコンに記憶されますので、次からは「運転/停止ボタン」を押すだけで、その内容で再び同じ運転が開始されます。

ドライ運転のしかた

部屋の湿気を取る運転です。
ドライ運転は室温が16℃以上でお使いください。15℃以下では運転しません。



準備 電源プラグをコンセントに差し込みます。

1 運転切換 ボタンを押して、"ドライ"にします。
設定室温が表示されます。

2 室温設定 ボタンを押して、お好みの温度にします。
設定室温 25℃
- ●16～32℃の間で設定できます。
- ●ドライ運転のおすすめ設定室温は20～26℃の範囲です。

3 運転/停止 ボタンを押します。
- ●本体表示部の「運転」ランプが点灯し、ドライ運転を行ないます。

停止 運転/停止 ボタンをもう一度押します。

注意
- ●ドライ運転時、風速は自動的に"微風"にセットされます。
  したがって風速切換えはできません。
- ●一度セットすると、その運転内容がマイコンに記憶されますので、次からは「運転/停止ボタン」を押すだけで、その内容で再び同じ運転が開始されます。

ドライ運転のしくみ

ドライ運転は、"設定室温"によって次のような運転を行ないます。

室温が設定室温より高いとき：設定室温まで室温を下げながらのドライ運転を行います。

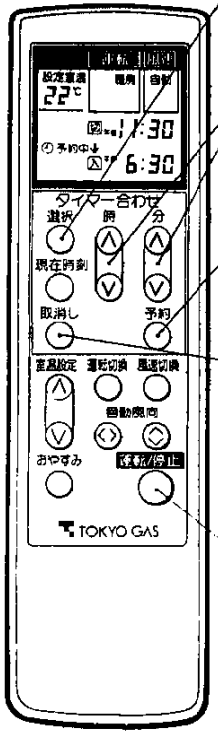
室温が設定室温より低いとき：設定室温に関係なく、自動的に室温より少し低い温度が設定室温となり、ドライ運転を行います。

お部屋の温度が設定室温より低くなりますと自動的に送風を停止します。
これは除湿効率を高めるためです。

タイマー運転のしかた

- ●タイマー予約は 切 タイマー、入 タイマー、切⇄入 タイマーの3種類のセットができます。
- ●一度セットした時刻は、リモコンが記憶していますので、同じ時刻を予約したいときは 予約 ボタンを押すだけでセットできます。

※9ページの時計の合わせかたで現在時刻を合わせてからタイマー設定を行なってください。



1 選択 ボタンを押して 切 マークか 入 マークを点滅させます。

切 午前 0:00　　入 午前 6:00

2 時 ボタン、分 ボタンを押して時刻をセットします。

切 午前 11:30　午後11時30分に停止する例

入 午前 6:30　午前6時30分にお部屋の温度がほぼ設定室温になっている例

3 本体に向けて 予約 ボタンを押します。
切 か 入 のマークの点滅が点灯に変り　予約中が表示されます。
本体からは"ピッ"という受信音がし、本体表部のタイマーランプ及び運転ランプ（運転ランプは切タイマー運転時のみ）が点灯します。

解除 タイマー運転を取消し（停止）したい場合には、リモコンを本体に向けて 取消し ボタンを押します。
"ピッ"という受信音がして、"予約"が取り消され、本体表示部のランプが全て消灯します。

変更 タイマー運転時間を変更したい場合には、選択 ボタンを押して、2、3の順番で再操作します。

運転/停止 タイマー運転中に 運転 停止 ボタンを押すと、切タイマー運転中は運転が停止し、入タイマー運転中は運転が開始されます。
再度 運転 停止 ボタンを押すと、切タイマー運転の場合は運転が開始され、切タイマーセット時間に運転を停止します。入タイマー運転の場合は運転が停止し、入タイマーセット時間に運転を開始します。

※入タイマー運転は、設定時刻にはお部屋がお望みの温度になるように、エアコンが自動的に設定時刻よりも早めに運転を開始します。

●タイマー時刻セット〈例〉

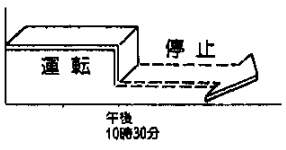
切タイマー(運転➡停止) セットした時刻に運転を停止させます。

(例) 現在運転中のエアコンを午後10時30分に運転を停止したいとき

①選択ボタンを押して表示部に切マークを点滅表示させます。 切 午後 0:00

②時ボタン、分ボタンを押して午後10時30分にセットします。 入 午後 10:30

③予約ボタンを押します。



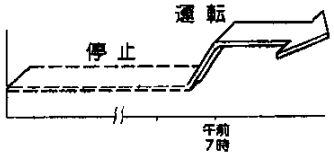
入タイマー(停止➡運転) セットした時刻には、設定室温になっているよう前もって運転を開始します。

(例) 明朝午前7時に起床したいとき

①選択ボタンを押して表示部に入マークを点滅表示させます。 入 午後 6:00

②時ボタンを押して午前7時にセットします。 入 午前 7:00

③予約ボタンを押します。



●組合わせタイマー(入タイマーと切タイマーを組み合わせてご使用できます)

切タイマー⬅➡入タイマー
- セット時刻が早い方から先に作動します。
- 作動する順序は表示部に矢印で表れます。

①選択ボタンを押して切マークを点滅・入時刻を点灯させます。 切 0:00 / 入 6:00

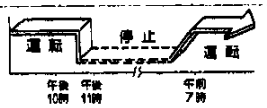
②時・分ボタンを押して、切時刻をセットします。 切 10:30 / 入 6:00

③もう一度選択ボタンを押すと切マークが点灯、入マークが点滅になります。 切 10:30 / 入 6:00

④時・分ボタンを押して、入時刻をセットします。 切 10:30 / 入 7:00

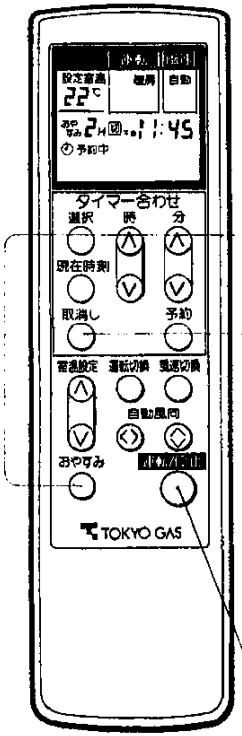
⑤予約ボタンを押します。

このようにセットすると、午後10時30分に運転を停止し、翌朝の7時には設定室温になるよう前もって運転を開始します。



おやすみ運転のしかた

夜、おやすみになるときにお使いください。設定室温を変えてからだにやさしい運転をします。
セットは、1、2、3、7時間の4種類あり、セットした時間に自動的に運転を停止します。



準備

おやすみ運転は、現在時刻を基準にして働きますので、最初に現在時刻をセットしてください。
(9ページ参照)

セット

おやすみボタンを押します。

このおやすみボタンを押すだけで運転が開始されます。

1回押すごとに運転内容が次のように変わります。

→1H→2H→3H→7H→ (H:時間)

←――― 運転停止 ―――←

停止させたい時間をセットします。

リモコンに予約した内容が表示され、受信部からは"ピッ"という受信音がして、本体表示部のタイマーランプが点灯します。

おやすみ 2H 午後 11:45 予約中

午後9時45分に2時間運転をセットしますと、2時間後の午後11時45分に運転を停止します。

＊風速を"微風"にセットしていただくと、静かな運転をします。

解除

おやすみ運転を取消したい場合には取消しボタンを押すか、おやすみボタンをおやすみ運転が取消されるまで押します。

セットが解除され、本体表示部のランプが全て消灯します。

運転/停止

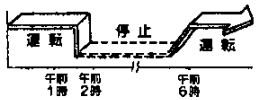
おやすみ運転中に運転 停止ボタンを押すと、おやすみ運転が停止します。

再度運転 停止ボタンを押すと、おやすみ運転が開始され、おやすみ運転セット時刻に運転を停止します。

ただし、おやすみ運転中に運転 停止ボタンを押しておやすみ運転を停止させたとき、停止時間がおやすみ運転セット時間より長い場合には、おやすみ運転は解除され、通常運転になります。

●組合わせタイマー(おやすみ運転と入タイマーを組合わせて運転できます。)

①入タイマーを予約します。
(予約のしかたは16ページ参照)
②おやすみボタンを押して、おやすみ運転をセットします。



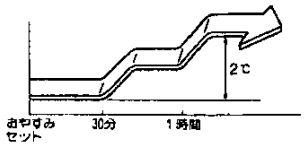
おやすみ 2H 1:38
予約中 入予約 6:00

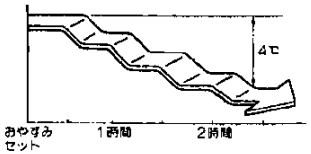
左のようにセットすると、2時間後の午前1時38分に運転を停止し、翌朝の6時にはお好みの室温になるよう、前もって運転を開始します。

●おやすみ運転のしくみ

運転内容と室温変化は下図のようになります。

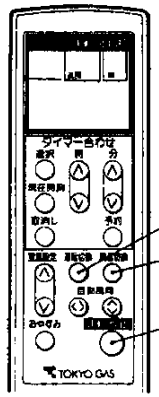
運転内容	"おやすみ運転"の内容
冷房のとき	睡眠に適した温度になるよう、30分ごとに1℃(最高2℃まで)設定室温を上げます。
暖房のとき	睡眠に適した温度になるよう、30分ごとに1℃(最高4℃まで)設定室温を下げます。





注意 ●切タイマーまたは切→入タイマー予約中に、おやすみ運転をセットすると、切タイマーがおやすみ運転に切換わります。

送風運転のしかた

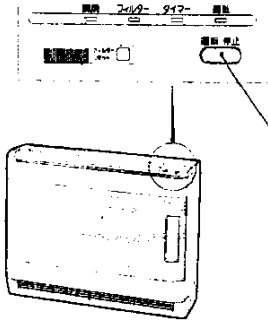


風だけを送る運転です。
部屋の空気を循環させたいときに運転します。

準備	電源プラグをコンセントに差し込みます。
1	運転切換ボタンを押して、"送風"にします。
2	風速切換ボタンを押して、お好みの風速にします。
3	運転 停止ボタンを押します。 ●本体表示部の「運転」ランプが点灯し、送風運転を行ないます。
停止	運転 停止ボタンをもう一度押します。

本体操作部での操作のしかた

リモコンを使わない運転のしかたです。



準備	電源プラグをコンセントに差し込みます。
1	運転 停止 ボタンを押します。 ●「運転」ランプが点灯し、自動運転を行ないます。 (自動運転については10ページ参照)
停止	運転 停止 ボタンをもう一度押します。

注意 ●リモコンを操作して運転(暖房・ドライ・冷房・送風)を行い、停止した後に本体操作部で操作した場合には、前回の運転モードで運転します。

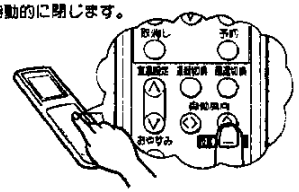
風向調節のしかた

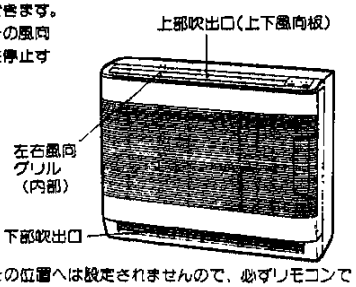
上部吹出口

上部吹出口は、"冷房"・"ドライ"時は冷風が、"暖房"・"送風"時は室温に近い風が吹き出します。

上下の風向調節　（冷房・送風・ドライ運転時）

自動風向 ◎ボタンを押すと上下風向板がスイングし、再度押すと上下風向板が止まります。
好みの角度でスイングを止め、お好みの風向きにできます。
お好みの風向きにしますと、次回からは自動的にその風向きになります。上部吹出口（上下風向板）は、運転を停止すると自動的に閉じます。





＊上下風向板を手で操作したときは、次回運転時その位置へは設定されませんので、必ずリモコンで操作してください。（誤って上下風向板を手で閉じた場合は、一度運転を停止し、再運転すると開きます。）

（暖房運転時）
室温が設定室温になると上部吹出口が全開し、室温に近い風を"微風"で吹き出し、下部の吹出口からの温風感をおさえた"マイルド"な暖房を行います。
このとき上下の風向調節はできません。また上下風向板のスイングもいたしません。
上部からの送風を停止したいときは、自動風向 ◎ボタンを押してください。

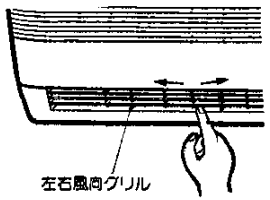
左右の風向調節

自動風向 ◎ボタンを押すと、左右風向グリルが左右にスイングします。
もう一度押すとスイングが止まりますので、お好みの風向きにできます。

下部吹出口

下部吹出口は、暖房時は温風が、冷房時は室温の風が吹き出します。
室内の状態や好みに合わせ、左右風向グリルを右または左に動かして調節してください。
＊上下の風向調節はできません。

ご注意　暖房時は左右風向グリルの表面が熱くなっていますので、運転を止め、冷えてから行なってください。



使用上のご注意

★使用するガス（ガスグループ）・使用電源は、銘板に表示されているものにしてください。

・この機器（室内ユニット）は都市ガス用です。都市ガス12A・13A以外のガスでは使用しないでください。
・銘板に表示してある電源（電圧・周波数）以外の電源では使用しないでください。

★ガス漏れには充分ご注意ください。

・ガス漏れに気づいたときは、機器（室内ユニット）の運転を停止し、窓や戸を全部あけてから、もよりの東京ガスにご連絡ください。
・東京ガスの係員が処置するまでは、電気スイッチの「入」「切」や電源プラグの抜き差し、マッチ・ライターは絶対に使わないでください。

★燃えやすいものをそばに置いたり、近くで引火物を使わないでください。

・室内ユニットの上に衣類や毛布を置いたり、かぶせたりしないでください。またカーテンなど燃えやすいものを温風吹出口や空気吸込部に近づけないよう、また室内ユニット背面部にはさまないよう注意してください。
・ヘアスプレーなど引火物を近くで使用しないでください。

★やけどには充分ご注意ください。

・使用中や停止直後は、室内ユニットの温風吹出口や給排気トップ等は高温になっていますので、手を触れないでください。特に小さいお子様のいるご家庭では充分ご注意ください。
・温風の直接あたる場所でおやすみにならないでください。特にお子様やお年寄り、病気の方にはご注意ください。（低温風でも連続的にあたりますと、低温やけどのおそれがあります。）

★室内ユニットや室外ユニットの吹出口や吸込口をふさがないでください。

・吹出口や吸込口をふさぐと、過熱し、火災や故障の原因になります。また、紙や布、異物を入れるとたいへん危険です。
・室外ユニットの吹出口や吸込口の前方に物を置きますと、機能低下や運転音の増大のもととなります。吹出口や吸込口の前方に物を置かないでください。

★室内ユニットの上に花ビン、コップなどを置かないでください。

・万一、水がこぼれると、感電のもとになりたいへん危険です。また、室内ユニットの上には腰かけたり、乗ったりしないでください。

★他の目的に使用しないでください。

・衣類などの乾燥に使用しないでください。

★停止時の注意

・停止は必ず 運転　停止 ボタンで行ってください。
電源プラグを抜いて停止すると、過熱して機器の寿命を縮めます。

★停電時の注意

・停電のときは使用できません。
ご使用中、万一停電したり、誤って電源プラグを抜いてしまったときは、通電後にもう一度運転操作をしてください。

★雷時の注意
・激しい雷により、一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。
電源プラグをコンセントから抜くと損傷を防止できます。

★冷房・ドライ運転時の注意
・室外ユニットにビニールカバーがしてある場合は、取り外してからお使いください。
・室温が20℃以下のときは、長時間の冷房・ドライ運転をしないでください。
冷房用熱交換器に霜がついたり機器の寿命を縮める原因になります。

★異常時の注意
・電源プラグやコードが異常に熱いとき、ブレーカーやヒューズがたびたび切れる、スイッチの動作が不確実なときなど、異常と思われたときは24ページの「故障かな?と思ったら」をご確認ください。
・なお異常のあるときは、お買上げの販売店、またはもよりの東京ガスにご連絡ください。

★機器を移設するときの注意
・転居、移設される場合は、調整や工事が必要です。
必ずお買上げの販売店、またはもよりの東京ガスにご相談ください。(費用は有料となります。)

★テレビ・ラジオなどを使用するときの注意
・テレビ・ステレオ・ラジオなどを近くで使用すると、映像が乱れたり雑音が入ったりすることがあります。1m以上離してお使いください。

★使用場所の注意
・毛足の長いじゅうたんの上に置く場合は、じゅうたんが変色することがありますので室内ユニットの下や温風のあたるところに敷板等を敷いてお使いください。

★電源プラグはしっかりと差し込んでください。
・プラグにゆるみがありますと漏電や過熱の原因になります。

★室温調節セット時の注意
・暖め過ぎ、冷し過ぎは健康上好ましくないばかりか電気・ガスのムダ使いになります。
一般的には暖房22℃、冷房27℃が快適といわれています。

★給気・排気の注意
・排気口から燃焼排ガスや水蒸気・凝縮水が出ますので、近くに危険物、可燃物、植木鉢や愛がん動物、腐食・汚染されて困るものは置かないでください。
・給気口、排気口に袋やあき缶などをかぶせたり、密閉状態になるようなカバーをしたまま使用しないでください。
・お子さまの衝突など大きな振動を与えたときは、安全のため給気筒・排気筒が外れていないか確認してください。

★コンセントの注意
・コンセントは専用のものをお使いください。

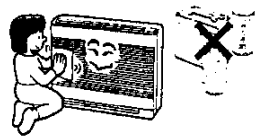
★給排気筒の外れには充分ご注意ください。
・室内ユニットに振動を与えないでください。給排気筒の外れの原因になります。
・給気筒・排気筒が外れているのに気付いたら使用をやめ、お買上げの販売店または最寄りの東京ガスへご連絡下さい。

日常の点検とお手入れ

●機器の冷えているときに、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
●エアーフィルター以外の部分は絶対に分解なさらないでください。

機器外装およびリモコンのお手入れ

吹き出しグリル、機器の外装などは、汚れがひどくならないうちにお手入れしてください。
お手入れは、やわらかい布をぬるま湯にひたし、よくしぼったものでふきます。
リモコンは、からぶきします。

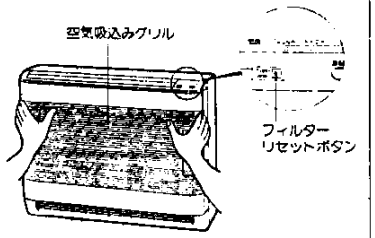


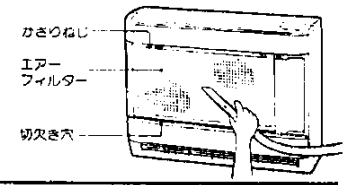
注意
●ベンジン、シンナー、クレンザーなどは使わないでください。
塗装面やプラスチックをいためます。
●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

エアーフィルターのお手入れ

暖房時、機器が過熱しそうなときや、冷房・送風・ドライ運転を約100時間行うと、フィルターランプが点灯します。フィルターランプが点灯しましたら、エアーフィルターを掃除してください。
エアーフィルターにホコリがたまり、空気の通りが悪くなると、冷・暖房効果が悪くなるばかりか、そのままの状態でお使いになると異常過熱の原因となって、運転が自動的に停止することがあります。

〈お手入れの順序〉
エアーフィルターは、空気吸い込みグリルの内側に、かざりねじで固定されています。
①空気吸い込みグリル上方の 押す 2カ所を軽く押して、空気吸い込みグリルを取り外します。
②エアーフィルターを点検し、ホコリだまりや汚れなどがあるときは、電気掃除機で落します。
汚れがひどい場合はエアーフィルターを外し、かためのブラシ等で掃除します。(固定している「かざりねじ」を十円硬貨等で回せば外れます。)
外した場合は、必ず元どおりに取付けます。
③空気吸い込みグリル下方の「ツメ」をフロントカバーの切欠き穴に差し込み、上方の両側を持って軽く押し込みます。
④本体操作部の「フィルターリセット」ボタンを押します。





注意
●エアーフィルターの水洗いはおやめください。縮びることがあります。
●エアーフィルターは必ず取付けてください。
エアーフィルター無しで運転すると故障することがあります。

故障かな？と思ったら

次のことを調べてください

状　況	点　検　事　項
運転しないとき	①電源プラグがコンセントにしっかり入っていますか。 ②ご家庭のヒューズやブレーカーが切れていませんか。 ③停電ではありませんか。 ④給気口・排気口がカバーなどでふさがれていませんか。（暖房時） ⑤リモコンの電池が切れていませんか。 ⑥室温設定が現在室温よりも低くなっていませんか。（暖房時）
よく暖まらないとき、または、よく冷えないとき	①エアーフィルターにホコリが詰まっていませんか。 ②設定室温が適正な温度になっていますか。 ③室内ユニットの空気吸い込みグリルや冷温風吹出口が障害物でふさがれていませんか。 ④室外ユニットにビニールカバーがかけてあったり、周囲に空気の流れを妨げる障害物がありませんか。（冷房・ドライ時） ⑤部屋の窓や戸があいていませんか。 ⑥冷温風吹出口の風向板、グリルが適正な向きになっていますか。 ⑦風速切換の表示が「微」になっていませんか。
変な音がするとき	給気口・排気口がカバーなどでふさがれていませんか。（暖房時）

次のような現象は故障ではありません

現　象		理　由　と　処　置
暖房時	シーズン始めや長時間運転しなかった後、なかなか燃焼ランプがつかない。	ガス配管内に空気が入っているためです。空気が抜けガスだして、燃焼ランプがつくまで運転操作を繰り返してください。
	初めて運転したときや、シーズン始めには、煙やにおいがでる。	内部の熱交換器などに付着している油やホコリが焼けるためです。しばらく換気しながらご使用ください。
	運転中に「カチン」と音がする。	室温調節をするための電磁弁（電気で開閉するガス弁）、リレーなどの作動音です。
	部屋が乾燥する。	部屋の温度が上がると相対湿度が下がるためです。市販の加湿器等で加湿してください。
	点火後や消火後にキシミ音がでる。	熱交換器などが加熱や冷却される際に金属が膨張・収縮して起こる音で、故障ではありません。
	運転してもすぐに温風が出てこない。	約20秒ほどして機器内部が暖まると、自動的に温風が出はじめます。（冷風を出さない処置です。）
	停止してもすぐに温風ファンが停止しない。	約1.5分程度機器内部を冷やしてから自動的に止まります。
冷房時	水の流れるような音がする。	冷房に使用する液（冷媒）が流れる音です。
	冷温風吹出口から霧が出ているように見える。	低温多湿時に見られる現象で、部屋の空気が冷風で冷やされて霧になるためです。
	においがでる。	空気中に含まれたたばこの煙、化粧品、食品などのにおいが機器に付着し、それが吹き出すためです。

なお、異常のあるときや、おわかりにならないときには、お買い上げの販売店または最寄りの「東京ガス」にご連絡ください。不完全な処置は事故のもとになります。

アフターサービスについて

■サービスを依頼されるときは

●まず24ページの「故障かな？と思ったら」をご確認のうえ、なお異常のあるときはお買上げの販売店またはもよりの東京ガスにご連絡ください。

●アフターサービスをお申しつけのときは、次のことをお知らせください。

(1) お名前・ご住所・電話番号・道順（付近の目印なども）

(2) 品　名　HT-A3534FF　室内ユニット（機器コード8500864）
　　HT-A254　室外ユニット（機器コード9005437）
　　HT-A4034FF　室内ユニット（機器コード8507865）
　　HT-A284　室外ユニット（機器コード9003438）

(3) 現　象（表示ランプの状態など、できるだけ詳しく）

(4) 訪問希望日

■保証について

●取扱説明書の28ページが保証書になっています。
必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

●保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合、ご希望により有料で修理いたします。

■補修用性能部品の最低保有期間について

●補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は製造打切後9年です。

■転居または機器を移設される場合

●ガスの種類が異なる地域、または電源周波数の異なる地域へ転居される場合は、地域によっては使用できないガスがありますので、あらかじめお買い上げの販売店または転居先のガス会社にご相談ください。

●増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要になりますので、必ずお買上げの販売店またはもよりの東京ガスにご連絡ください。

●設置場所の選定にあたっては、機器（室内ユニット）の重量に十分耐える場所で、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。
また、室外ユニットの吹出口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。

■アフターサービス等についてわからないとき

●お買上げの販売店またはもよりの東京ガスにお問い合わせください。

長期間使用しない場合

暖房・冷房・ドライシーズンが終って、次のシーズンまで長期間保管しておく場合、P23のお手入れを行って、そのまま設置した状態で保管してください。
また、電源プラグはコンセントから抜いてください。

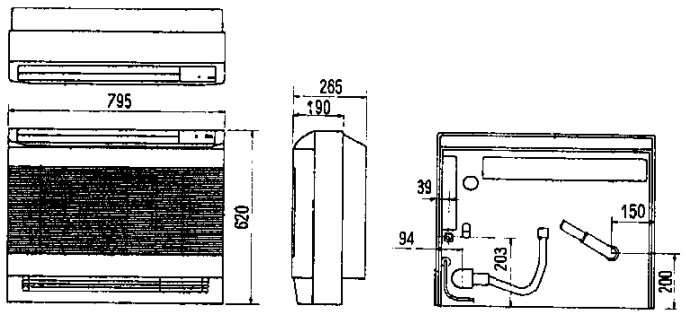
仕　様 …➡

暖房関係	品名		HT-A3534FF ガスルームエアコン		HT-A4034FF ガスルームエアコン
	型式の呼び		GHC-3534		GHC-4034
	種類	燃焼方式	密閉燃焼方式		
		給排気方式	強制給排気方式		
		熱交換方式	強制対流方式		
	点火方式		連続放電点火方式		
	使用ガス		都市ガス		
			13A	12A	13A	12A
	ガス消費量		4884W(4,200Kcal/h)	4535W(3,900kcal/h)	5581W(4,800kcal/h)	5233W(4,500kcal/h)
	暖房能力		4070W(3,500kcal/h)	3779W(3,250kcal/h)	4651W(4,000kcal/h)	4360W(3,750kcal/h)
	暖房のめやす	一般木造	10～20㎡(6～12畳)		12～22㎡(7～13畳)	
		鉄筋コンクリート造	15～30㎡(9～18畳)		17～33㎡(10～20畳)	
	外形寸法		幅795mm×高さ620mm×奥行265mm			
	重量(本体)		31kg		31kg	
	電気関係	電源	単相100V 50/60Hz			
		消費電力	50　50W		51　51W	
		電源コードの長さ	2m			
	ガス接続		両端迅速継手付強化型小口径ガスホース			
	給排気筒トップ		長さ：壁厚115～240mmまで取付け可能			
			壁貫通部穴径：80mm			
	排気管最大延長		3m2曲			
	排気温度		約180℃			
	安全装置		立消安全装置(フレームロッド式)・過熱防止装置・過電流保護装置・停電安全装置			
タイマー			24時間デジタル式「入」「切」1,2,3,7おやすみ(冷・暖房兼用)			
付属品			取扱説明書(保証書付)			
冷房関係	室外ユニット	品名	HT-A254		HT-A284	
		型式名	HT-A254		HT-A284	
	電気関係	電源	単相100V 50/60Hz(室内、室外)			
		運転電流	12.6A(最大13.3A)		15A(最大16.5A)	
		消費電力	1130W		1350W	
	冷房能力		2.8KW(3.0～1.6KW)		3.2KW(3.5～1.6KW)	
	冷房のめやす		13～19㎡(8～12畳)		15～23㎡(9～14畳)	
	外形寸法		幅796mm×高さ520mm×奥行250mm			
	重量		36kg		36kg	
	冷媒配管	貫通壁厚	200mm			
		貫通穴径	65mm			
		長さ	室内：0.9m			
	安全装置		3分遅延タイマー			
	延長配管		別売			

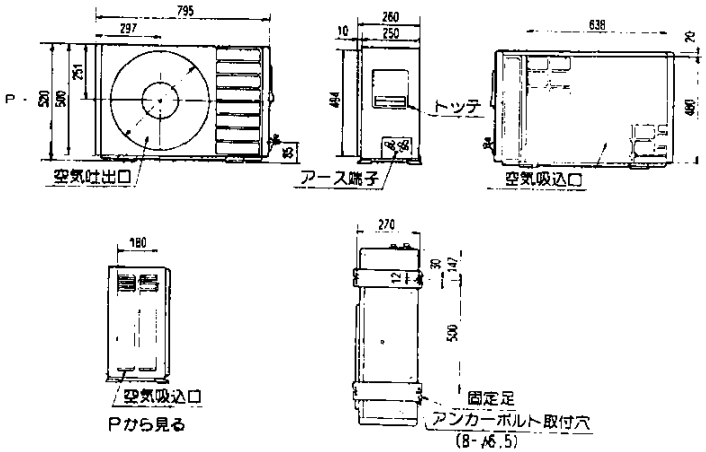
ご注意：暖房のめやす、冷房のめやすは、東京地区の例を示します。

●外形寸法（単位：mm）

室内ユニット



室外ユニット



保証書

型式名	(室内ユニット) (室外ユニット) GHC-3534 + HT-A254 GHC-4034 + HT-A284

品名	(室内ユニット) (室外ユニット) HT-A3534FF + HT-A254 HT-A4034FF + HT-A284 ガスルームエアコン

上記機器をお買い上げいただきましてありがとうございます。
この保証書は東京ガス供給区域内において都市ガス用として、ご使用になる場合本証書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

(1) 保証期間はお買い上げの日から3年間とし、機器本体を対象とします。
付属品は対象外です。
(2) 万一故障の場合はお買い上げの店、もしくはもよりの東京ガスへお申し出ください。
(3) サービス員が参上した時に本証書をお示しください。
(4) 保証期間中でありましても次の場合には有料修理といたします。
(イ) 取扱説明書によらないでご使用になり故障した場合
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷
(ハ) 火災、天災、地変等による故障、その他不可抗力による故障
(ニ) お買い上げの店、あるいは東京ガスに、ご連絡なしに改造された場合の故障
(ホ) 機器に表示してある以外のガスでご使用のため改造された場合。
ただし、当社都合の場合はのぞきます。
(ヘ) 本証書を紛失された場合
(5) 無料修理やアフターサービス等について、ご不明の場合はお買い上げの店または、もよりの東京ガス支社・営業所にお問い合わせください。

保証責任者　東京ガス株式会社　東京都港区海岸1丁目5番20号
電話 (03)3433～2111

修理記録

年月日	修理内容	サービス員印

お買上げ日および販売店名

お買上げ日	平成　年　月　日	
販売店名		捺者印
住所		
電話番号		

お客様へ

1. この保証書をお受取りになる時に販売年月日、販売店名、捺者印が記入してあることを確認してください。
2. 本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保存してください。
3. 無料修理期間経過後の故障修理につきましては取扱説明書をご覧ください。
4. この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
5. この保証書は2機種共通ですが、保証はお客様のお買い上げいただいた機器に限定させていただきます。

型式名	（室内ユニット）	（室外ユニット）
	GHC-3534	+ HT-A254
	GHC-4034	+ HT-A284

別冊の「安全のため必ずお守りください」を必ずお読みください。

保証書付

取扱説明書

品名

（室内ユニット） （室外ユニット）

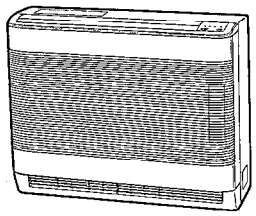
HT-A3534FF＋HT-A254
（機器コード：8500864） ＋ （機器コード：9005437）

HT-A4034FF＋HT-A284
（機器コード：8507865） ＋ （機器コード：9003438）

ガスルームエアコン

このたびはガスルームエアコンをお買上げいただきましてありがとうございます。

- ご使用になる前にこの取扱説明書をお読みいただき正しくご使用ください。
- この取扱説明書の28ページが、保証書になっております。内容をよくご確認のうえ、大切に保管してください。



もくじ

- ●機能と特長 ―― 1
- ●各部の名称とはたらき ―― 3
- ●お使いになる前に ―― 7
- ●操作のしかた
  - ○自動運転のしかた ―― 10
  - ○暖房運転のしかた ―― 12
  - ○冷房運転のしかた ―― 13
  - ○ドライ運転のしかた ―― 14
  - ○タイマー運転のしかた ―― 15
  - ○おやすみ運転のしかた ―― 17
  - ○送風運転のしかた ―― 19
  - ○本体操作部での運転のしかた ―― 19
  - ○風向調節のしかた ―― 20
- ●使用上のご注意 ―― 21
- ●日常の点検とお手入れ ―― 23
- ●故障かな？と思ったら ―― 24
- ●アフターサービスについて ―― 25
- ●長期間使用しない場合 ―― 25
- ●仕　様 ―― 26
- ●保証書 ―― 28

TOKYO GAS

機器コード	情報番号	通し番号	訂正番号
8500864	13	161	1

P L 法対応

修理記録

年月日	修理内容	サービス員印

お買上げ日および販売店名

お買上げ日	平成　年　月　日	
販売店名		扱者印
住所		
電話番号		

お客様へ

1. この保証書をお受取りになる時に販売年月日、販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。
2. 本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保存してください。
3. 無料修理期間経過後の故障修理につきましては取扱説明書をご覧ください。
4. この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
5. この保証書は2機種共通ですが、保証はお客様のお買い上げいただいた機器に限定させていただきます。

機能と特長

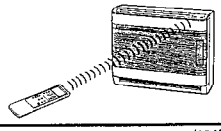
はじめまして。
ガスルームエアコン「HT-A3534FF・HT-A4034FF」は、年間を通して快適に過ごしていただくため、次のような特長をそろえました。ぜひ、皆様の暮らしにお役立てください。

1台で

冬は暖房	夏は冷房	梅雨どきなどはドライ

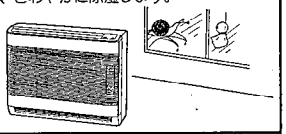
リモコン運転 （7ページ参照）

リモコンで、離れたところからでも簡単に運転モードが切換えできます。 ピッ



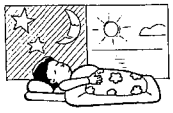
ドライ運転 （14ページ参照）

梅雨どきなどに、室温をほとんど変えることなく、さわやかに除湿します。



タイマー運転 （15ページ参照）

ご希望の時刻にセットしておけば、タイマーが自動的に運転をON・OFFします。



ガス比例制御（暖房時）

室温の変化に応じて、暖房能力をきめ細かく調節し、室温変化の少ない、より快適な暖房を行います。

インバータ冷房

室温の変化に応じて冷房能力をきめ細かく調節し、室温変化の少ない、より快適な冷房を行います。

冷房上下左右自動首ふり （20ページ参照）

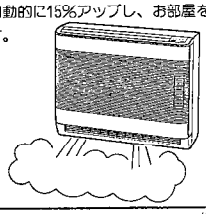
冷房時は上部吹出口から上下左右にスイングする冷風を送風。下部吹出口からの送風と合わせ、自然な涼風感をあたえます。
また、暖房時、設定室温になると上部吹出口からも送風を開始、下部吹出口の温風感をおさえたマイルドな暖房感を与えます。

おやすみ運転 （17ページ参照）

おやすみ ボタンでセットした時間に運転を停止します。
暖房時は30分ごとに1℃（最高4℃まで）設定室温を下げ、冷房時は30分ごとに1℃（最高2℃まで）設定室温を上げ、睡眠に適した運転を行います。

ホットダッシュ運転（暖房時）

室温15℃以下から運転を始めるとき、暖房能力を自動的に15%アップし、お部屋を早く暖めます。



ナイスオン予約 （15ページ参照）

マイコンが朝の室温をチェック、おめざめ時にお部屋の温度が設定室温になっているようタイマーセット時刻より早めに運転を開始します。

自動運転 （10ページ参照）

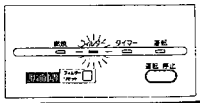
運転の種類を「自動」にすることにより、スイッチON時の室温に応じて「暖房」「ドライ」「冷房」運転を自動的に選択して運転します。
また風速も自動的に選択します。

メモリールーバー （20ページ参照）

「冷房」・「ドライ」・「送風」運転時、自動風向 ◎ボタンを押すと、上下風向板をスイングさせたり、お好みの位置で停止させたりできます。運転を停止すると自動的に上下風向板が閉じますが、マイコンが位置を記憶していますので次回運転からは自動的にスイングしたり、前回セットの位置になります。

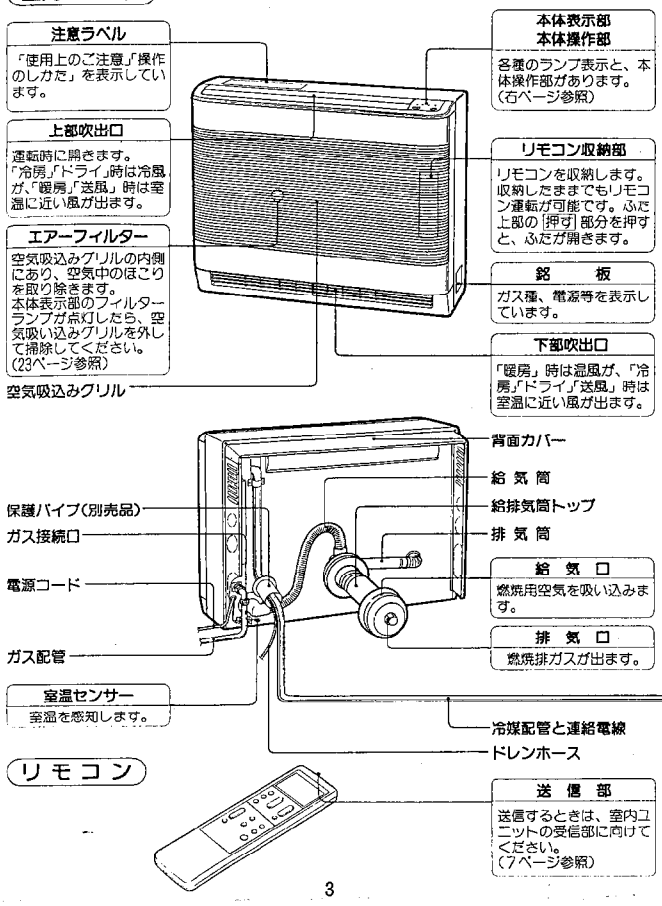
フィルターサイン （23ページ参照）

エアーフィルターへのほこり詰まりをランプで知らせます。
暖房時はほこりがたまったとき、冷房・送風・ドライ時は約100時間運転したとき「フィルターランプ」が点灯します。



各部の名称とはたらき …➡

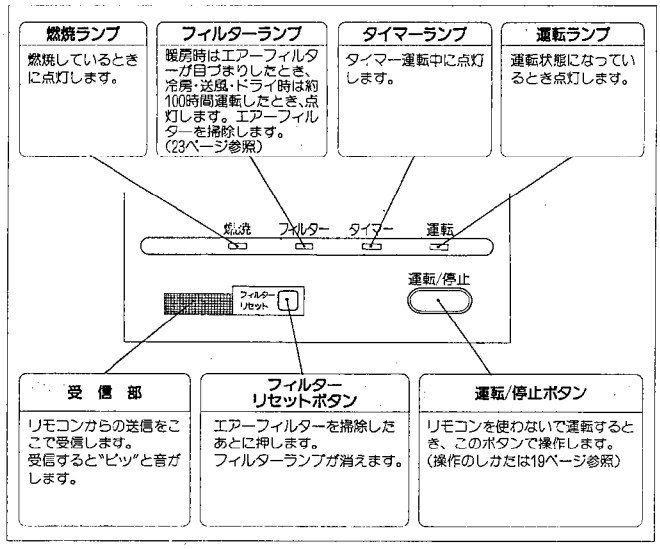
室内ユニット



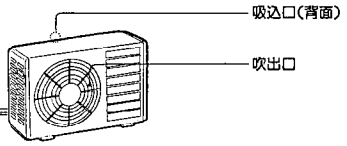
リモコン

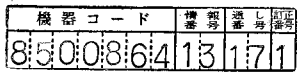
送信部
送信するときは、室内ユニットの受信部に向けてください。
(7ページ参照)

●本体表示部・本体操作部



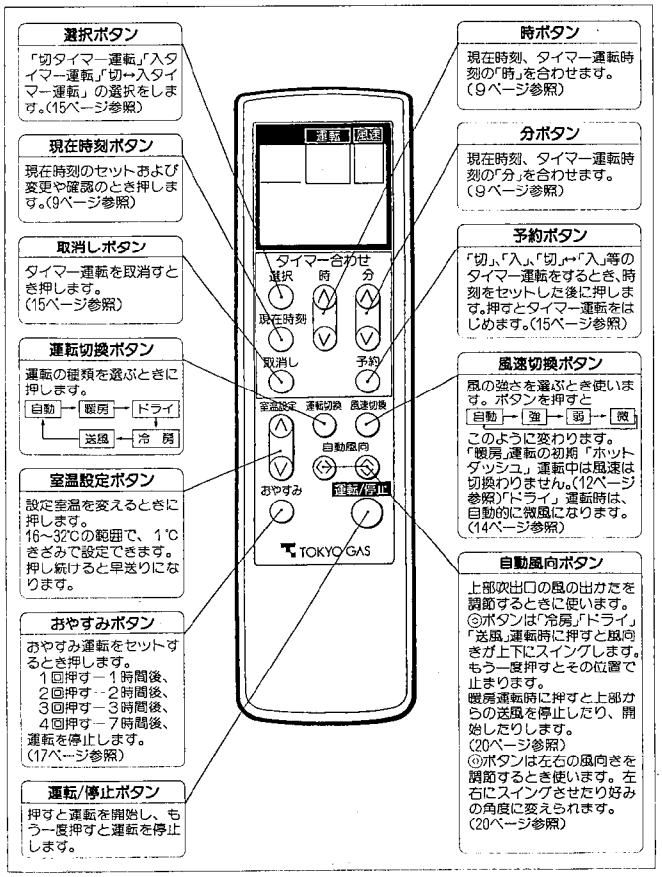
室外ユニット



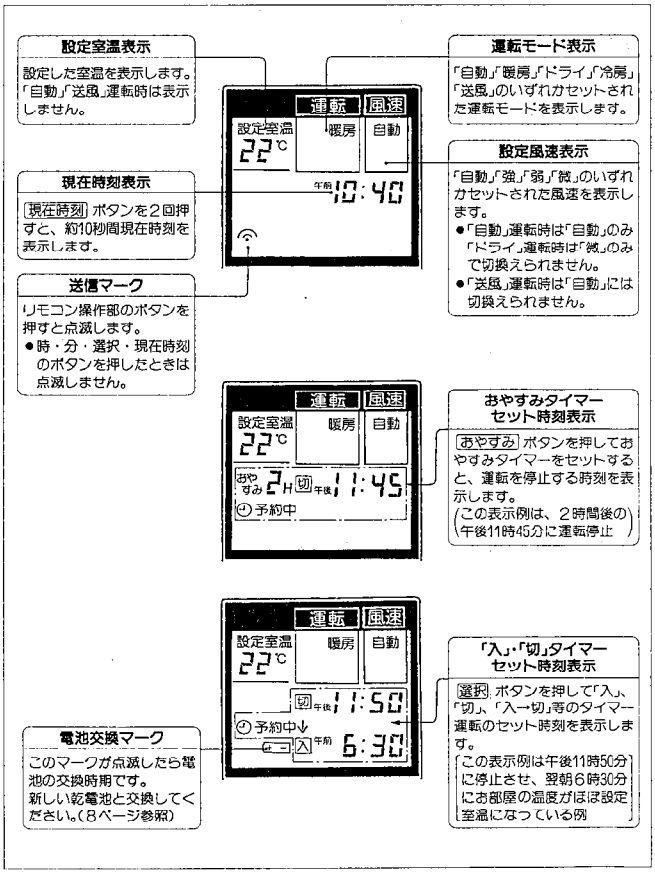


…各部の名称とはたらき

●リモコン操作部



●リモコン表示部



お使いになる前に

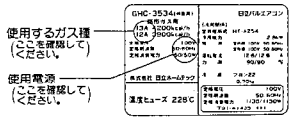
ガスルームエアコンを使い始める前に、次の準備を行ないます。

運転をはじめる前の確認

●ガスと電源の種類を確認します。

●この機器(室内ユニット)は都市ガス用です。12A、13A以外のガスでは使用しないでください。

●銘板に表示してある電源(電圧・周波数)以外の電源では使用しないでください。



●周囲に燃えやすいものがないか確認します。

カーテンなど、燃えやすいものが冷温風吹出口や空気吸込口の近くにないか、また本体背面部にはさまれていないか確認します。また、ヘアスプレーなど、引火物を近くでご使用なさらないでください。

●木質のフロアーでご使用の場合、フロアー表面が温風で乾燥しザラザラ(白い粉が出ることもある)になることがありますので、温風吹出口前方1m位までカーペットなどを敷きフロアー表面を保護してください。

リモコンの準備

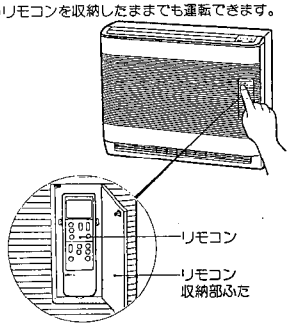
リモコンの取り外し・収納のしかた

●空気吸い込みグリル部にリモコンが収納してあります。

●収納部ふたの 押す の部分を押すと開きますから、リモコンを前方に引き抜いてください。

●収納するときはリモコン全体を収納部へ押して取り付けます。

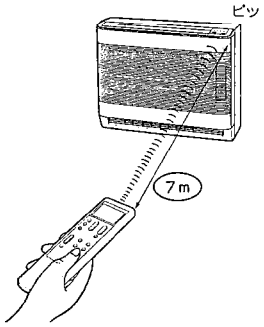
●リモコンを収納したままでも運転できます。



リモコンの取扱いについて

リモコンを、本体正面で受信部とほぼ同じ高さから、信号が本体受信部へ正しく送信できるよう、送信部を受信部へ向けて操作します。

ただし、"ピッ"という本体からの受信音がない場合は、運転が開始されませんので再度操作してください。(受信距離は7mまでです。)



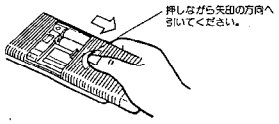
電池セット(交換)のしかた

単4形アルカリ電池(1.5V)を2個使います。

1 リモコン裏面のフタを矢印の方向へあけます。

2 新しい電池を入れます。
⊕(プラス)・⊖(マイナス)はケースの表示どおりに入れてください。

機器コード							情報番号	送り番号	予備番号
8	5	0	0	8	6	4	13	18	1



注意
- 電池は、古いものや、種類のちがうものをまぜて使わないでください。誤動作することがあります。
- 電池の漏液による故障をさけるため、長い間お使いにならないときは電池を全部取り出してください。
- 通常のご使用で電池の寿命は約1年です。
- リモコン表示部の左下に電池マークが出ましたら電池を交換してください。電池を交換した後は時計を合わせてください。(9ページ参照)
- お買い求めいただき、初めて使用する場合は、同梱されております電池を上記の要領でセットして使用してください。

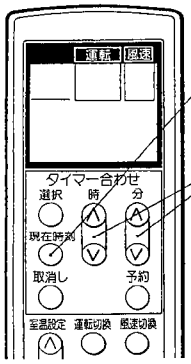
注意
- 本体とリモコンの間にカーテン、ふすまなど信号をさえぎるものがあると作動しません。
- リモコンにジュースや水等の液体がかからないように注意してください。
- リモコンを直射日光の当たる所や、ストーブなどの近くに置かないでください。
- 本体(受信部)に直射日光が当たる場合、エアコンが正しく動作しないことがあります。カーテンなどでさえぎってください。
- 電子式点灯方式の蛍光灯がある部屋では、信号を受けつけない場合があります。あらたに蛍光灯を買われる場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 運転中に 運転切換 ボタンを押すと、運転を停止します。再度 運転/停止 ボタンを押してください。
- リモコンで他の電気機器が動作する場合は、電気機器を離すか、お買い求めの販売店にご相談ください。

時計の合わせかた

運転する前に次の手順で現在時刻を合わせます。

最初に時間を合わせるとき

電池を入れた後の時計表示は 予熱 18:88 が点滅します。



1 現在時刻 ボタンを押します。
時計表示は 予熱 0:00 が点滅します。

2 時 ボタン、分 ボタンを押して、現在の時刻に合わせます。(表示は点滅しています。)
Ⓐを押すと時刻が進み、Ⓥを押すと時刻が戻ります。
予熱 10:30 (午前10時30分の例)

注意 ●午前と午後をまちがえないように合わせてください。

3 現在時刻 ボタンをもう一度押します。
時計表示が点灯に変わり、時計が動き始めます。
予熱 10:30 10秒後に消灯します。

※現在時刻を確認したいときは、現在時刻 ボタンを2回押します。
10秒間現在の時刻を表示したのち、消灯します。

時計を合わせ直すとき

(午後9時40分を午後10時40分に合わせ直す例)

1 現在時刻 ボタンを押します。
時計表示は 予熱 9:40 点滅します。

2 時 ボタン、分 ボタンを押して、現在の時刻に合わせます。(表示は点滅しています。)
予熱 10:40

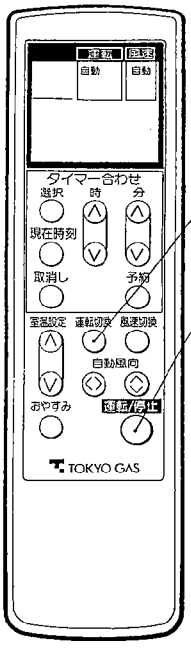
3 現在時刻 ボタンをもう一度押します。
時計表示が点灯に変わり、時計が動き始めます。
予熱 10:40 10秒後に消灯します。

操作のしかた

お使いになられるときは、21ページの「使用上のご注意」も併せてお読みください。
もし、異常と思われたら直ちに使用を中止し、お買い求めいただいた販売店、またはお近くの東京ガスへご連絡ください。

自動運転のしかた

自動運転は、エアコンが運転開始時の室温に応じて、暖房、ドライ、冷房のいずれか一つの状態を自動的に選んで運転します。
なお、運転中に室温が変化しても、運転の種類は切換わりません。



準備 電源プラグをコンセントに差し込みます。

1 運転切換 ボタンを押して、"自動"にします。
●風速は「自動」を表示します。

2 運転/停止 ボタンを押します。
●本体表示部の「運転」ランプが点灯し、室温に応じた運転を行ないます。

停止 運転/停止 ボタンをもう一度押します。

設定室温について

自動運転では次のように室温が自動的に設定されます。
暖　房…… 22℃
ドライ…… 室温より少し低い温度になります。
冷　房…… 27℃

"あつすぎる"あるいは"さむすぎる"と感じたときは、設定室温を調節することができます。(暖房・冷房のみ)

調節できる範囲は、高めに3℃、低めに3℃までです。

それぞれ1回押すごとに1℃ずつ変わります。

こんなときには

機器コード						情報番号	通し番号	訂正番号
8	5	0	0	8	6	4	13	19	1

●再度、自動運転されるとき

"あつすぎる"あるいは"さむすぎる"と感じ、設定室温を一度調節すると、その設定室温がマイコンに記憶されますので、次からは「運転／停止ボタン」を押すだけで、その設定室温で再び同じ運転が開始されます。

●自動運転の設定内容がご希望に合わないとき

運転切換ボタンで「冷房」「暖房」「ドライ」「送風」のいずれかを選んでください。
（P12～14参照）

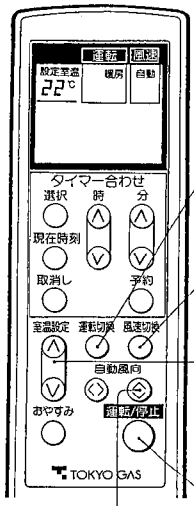
自動運転について

●エアコンが室温に応じて、暖房、ドライ、冷房のいずれか1つの状態を自動的に選んで運転します。

運転開始時の部屋の温度	自動運転の内容		
	運転の種類	設定室温	風速
約27℃以上 ➡	冷房	27℃	室温に応じて"強風"→"弱風"→"微風"に変ります。
約22℃以上～27℃未満 ➡	ドライ	室温より少し低い温度になります。	"微風"で運転します。
約22℃未満 ➡	暖房	22℃	室温に応じて"強風"から"弱風"まで比例してきめ細く調節します。

注意
- ●「自動」運転では、設定室温が表示されません。設定室温を変更したときに、"ピッ"という室内ユニットの受信音で変更したことを確認してください。（暖房・冷房のみ）
- ●設定室温と部屋の温度は、使用環境によって多少異なることがあります。
- ●「自動」運転時は、風速の切換えはできません。

暖房運転のしかた



準備 電源プラグをコンセントに差し込みます。

1 運転切換 ボタンを押して"暖房"にします。
設定室温が表示されます。

2 風速切換 ボタンを押して、お好みの風速にします。
- ●自動：室温に応じて自動的に風速が変わり、風による肌寒さの少ない快適な運転を行います。
- ●強　：風速を上げて温風の循環をよくします。（風による肌寒さを感じることがあります。）
- ●弱　：マイルドな温風感を与える風を送り、静かな運転を行います。
- ●微　：よりマイルドな温風感を与える風を送り、より静かな運転を行います。

3 室温設定 ボタンを押して、お好みの温度にします。
- ●16～32℃の間で設定できます。
- ●暖房運転のおすすめ設定室温は20～24℃の範囲です。

設定室温 22℃ 例えば22℃に設定すれば、お部屋の温度をほぼ22℃にし、運転します。

4 運転/停止 ボタンを押します。
- ●本体表示部の「運転」ランプが点灯し、暖房運転を行ないます。
- ●室温が15℃以下のときは、自動的に"ホットダッシュ"運転（2ページ参照）になります。

5 室温が設定室温になると上部吹出口からも送風を開始し、下部吹出口の温風感をおさえたマイルドな暖房を行います。
自動風向 ㊂ ボタンを押すと上部からの送風を停止し上部吹出口が閉じます。

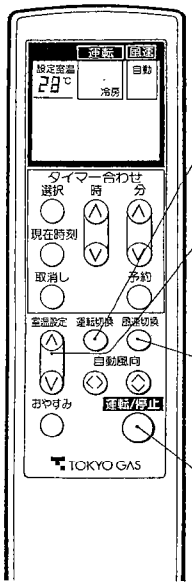
停止 運転/停止 ボタンをもう一度押します。

ご注意
- ●設定室温と部屋の温度は使用環境によって多少異なることがあります。
- ●ホットダッシュ時は風速切換えはできません。
- ●"微風"で長時間運転されるとお部屋がよく暖まらないことがあります。
- ●設定室温が現在室温より低いと運転しません。（ただし、運転ランプは点灯します。）

●一度セットすると、その運転内容がマイコンに記憶されますので、次からは 運転/停止 ボタンを押すだけで、その内容で再び同じ運転が開始されます。

冷房運転のしかた

冷房運転は外気の温度が22℃～42℃の範囲でお使いください。



準備 電源プラグをコンセントに差し込みます。

1 運転切換 ボタンを押して"冷房"にします。
設定室温が表示されます。

2 室温設定 ボタンを押して、お好みの温度にします。
- ●16～32℃の間で設定できます。
- ●冷房運転のおすすめ設定室温は25～26℃の範囲です。

設定室温 28℃ 例えば28℃に設定すれば、お部屋の温度をほぼ28℃にし、運転します。

3 風速切換 ボタンを押して、お好みの風速にします。
- ●"自動"：運転開始時は"強風"で、セットした温度になると"微風"に自動的に変わります。
- ●"強風"：冷えが速く経済的な運転を行います。
- ●"弱風"：静かな運転を行います。
- ●"微風"：より静かな運転を行います。

（風向調節のしかたは20ページを参照してください。）

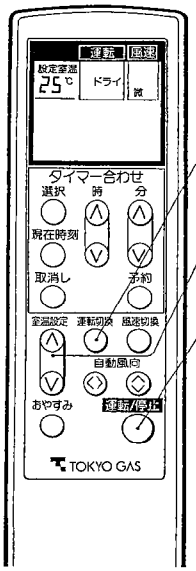
4 運転/停止 ボタンを押します。
- ●本体表示部の「運転」ランプが点灯し、冷房運転を行ないます。

停止 運転/停止 ボタンをもう一度押します。

注意
- ●設定室温と部屋の温度は使用環境によって多少異なることがあります。
- ●部屋の湿度より設定室温が高い場合は冷房運転をしません。（本体表示部の運転ランプは点灯します。）設定室温を下げますと冷房運転を開始します。
- ●部屋の湿度が高いとき（80%を超えるようなとき）は、室内ユニットの吹出し口などに露がつくことがあります。
- ●一度セットすると、その運転内容がマイコンに記憶されますので、次からは「運転／停止ボタン」を押すだけで、その内容で再び同じ運転が開始されます。

ドライ運転のしかた

部屋の湿気を取る運転です。
ドライ運転は室温が16℃以上でお使いください。15℃以下では運転しません。



準備 電源プラグをコンセントに差し込みます。

1 運転切換 ボタンを押して、"ドライ"にします。
設定室温が表示されます。

2 室温設定 ボタンを押して、お好みの温度にします。

設定室温 25℃
- ●16～32℃の間で設定できます。
- ●ドライ運転のおすすめ設定室温は20～26℃の範囲です。

3 運転/停止 ボタンを押します。
- ●本体表示部の「運転」ランプが点灯し、ドライ運転を行ないます。

停止 運転/停止 ボタンをもう一度押します。

注意
- ●ドライ運転時、風速は自動的に"微風"にセットされます。したがって風速切換えはできません。
- ●一度セットすると、その運転内容がマイコンに記憶されますので、次からは「運転／停止ボタン」を押すだけで、その内容で再び同じ運転が開始されます。

ドライ運転のしくみ

ドライ運転は、"設定室温"によって次のような運転を行ないます。

室温が設定室温より高いとき：設定室温まで室温を下げながらのドライ運転を行います。

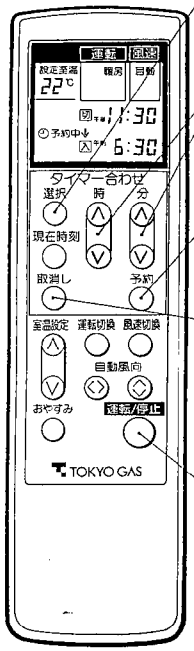
室温が設定室温より低いとき：設定室温に関係なく、自動的に室温より少し低い温度が設定室温となり、ドライ運転を行います。

お部屋の温度が設定室温より低くなりますと自動的に送風を停止します。
これは除湿効率を高めるためです。

タイマー運転のしかた

●タイマー予約は切タイマー、入タイマー、切⇄入タイマーの3種類のセットができます。
●一度セットした時刻は、リモコンが記憶していますので、同じ時刻を予約したいときは予約ボタンを押すだけでセットできます。

※9ページの時計の合わせかたで現在時刻を合わせてからタイマー設定を行なってください。



1 選択 ボタンを押して切マークか入マークを点滅させます。

切 午前 0:00　　入 午前 6:00

2 時 ボタン、分 ボタンを押して時刻をセットします。

切 午後 11:30　　入 午前 6:30

午後11時30分に停止する例　　午前6時30分にお部屋の温度がほぼ設定室温になっている例

3 本体に向けて 予約 ボタンを押します。
切か入のマークの点滅が点灯に変り　予約中が表示されます。
本体からは"ピッ"という受信音がし、本体表部のタイマーランプ及び運転ランプ（運転ランプは切タイマー運転時のみ）が点灯します。

解除 タイマー運転を取消し（停止）したい場合には、リモコンを本体に向けて 取消し ボタンを押します。
"ピッ"という受信音がして、"予約"が取り消され、本体表示部のランプが全て消灯します。

変更 タイマー運転時間を変更したい場合には、選択 ボタンを押して、2、3の順番で再操作します。

運転/停止 タイマー運転中に 運転/停止 ボタンを押すと、切タイマー運転中は運転が開始されます。
再度 運転/停止 ボタンを押すと、切タイマー運転の場合は運転が開始され、切タイマーセット時間に運転を停止します。入タイマー運転の場合は運転が停止し、入タイマーセット時間に運転を開始します。

※入タイマー運転は、設定時刻にはお部屋がお望みの温度になるように、エアコンが自動的に設定時刻よりも早めに運転を開始します。

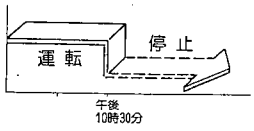
●タイマー時刻セット〈例〉

機器コード							操作番号				
8	5	0	0	8	6	4	1	3	2	0	1

切タイマー（運転➡停止） セットした時刻に運転を停止させます。

（例）現在運転中のエアコンを午後10時30分に運転を停止したいとき

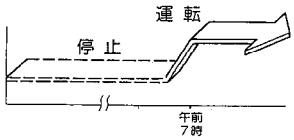
①選択 ボタンを押して表示部に切マークを点滅表示させます。　切 午前 0:00
②時 ボタン、分 ボタンを押して午後10時30分にセットします。　入 午後 10:30
③予約 ボタンを押します。



入タイマー（停止➡運転） セットした時刻には、設定室温になっているよう前もって運転を開始します。

（例）明朝午前7時に起床したいとき

①選択 ボタンを押して表示部に入マークを点滅表示させます。　入 午前 6:00
②時 ボタンを押して午前7時にセットします。　入 午前 7:00
③予約 ボタンを押します。

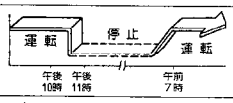


●組合わせタイマー（入タイマーと切タイマーを組み合わせてご使用できます）

切タイマー⬅➡入タイマー
●セット時刻が早い方から先に作動します。
●作動する順序は表示部に矢印で表れます。

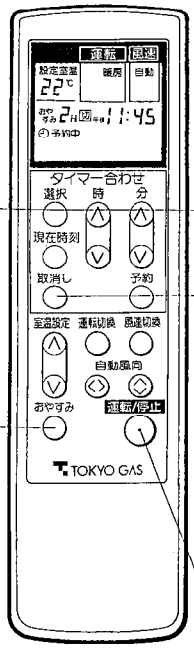
①選択 ボタンを押して切マークを点滅・入時刻を点灯させます。　切 午前 0:00 ↓ 入 午前 6:00
②時・分 ボタンを押して、切時刻をセットします。　切 午後 10:30 ↓ 入 午前 6:00
③もう一度選択 ボタンを押すと切マークが点灯、入マークが点滅になります。　切 午後 10:30 / 入 午前 6:00
④時・分 ボタンを押して、入時刻をセットします。　切 午後 10:30 / 入 午前 7:00
⑤予約 ボタンを押します。

このようにセットすると、午後10時30分に運転を停止し、翌朝の7時には設定室温になるよう前もって運転を開始します。



おやすみ運転のしかた

夜、おやすみになるときにお使いください。設定室温を変えてからだにやさしい運転をします。
セットは、1、2、3、7時間の4種類あり、セットした時間に自動的に運転を停止します。



準備 おやすみ運転は、現在時刻を基準にして働きますので、最初に現在時刻をセットしてください。
（9ページ参照）

セット おやすみ ボタンを押します。
このおやすみ ボタンを押すだけで運転が開始されます。
1回押すごとに運転内容が次のように変わります。

→1H→2H→3H→7H→（H：時間）
運転停止

停止させたい時間をセットします。
リモコンに予約した内容が表示され、受信部からは"ピッ"という受信音がして、本体表示部のタイマーランプが点灯します。

おやすみ 2H 切 午後 11:45
予約中

午後9時45分に2時間運転をセットしますと、2時間後の午後11時45分に運転を停止します。

※風速を"微風"にセットしていただくと、静かな運転をします。

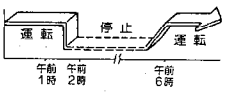
解除 おやすみ運転を取消したい場合には 取消し ボタンを押すか、おやすみ ボタンをおやすみ運転が取消されるまで押します。
セットが解除され、本体表示部のランプが全て消灯します。

運転/停止 おやすみ運転中に 運転/停止 ボタンを押すと、おやすみ運転が停止します。
再度 運転/停止 ボタンを押すと、おやすみ運転が開始され、おやすみ運転セット時刻に運転を停止します。
ただし、おやすみ運転中に 運転/停止 ボタンを押しておやすみ運転を停止させたとき、停止時間がおやすみ運転セット時間より長い場合には、おやすみ運転は解除され、通常運転になります。

●組合わせタイマー（おやすみ運転と入タイマーを組合わせて運転できます。）

①入タイマーを予約します。
（予約のしかたは16ページ参照）
②おやすみ ボタンを押して、おやすみ運転をセットします。

おやすみ 2H 切 午前 1:38
予約中
入 午前 6:00

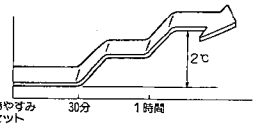


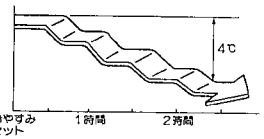
左のようにセットすると、2時間後の午前1時38分に運転を停止し、翌朝の6時にはお好みの室温になるよう、前もって運転を開始します。

●おやすみ運転のしくみ

運転内容と室温変化は下図のようになります。

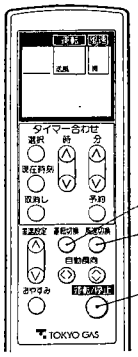
運転内容	"おやすみ運転"の内容
冷房のとき	睡眠に適した温度になるよう、30分ごとに1℃（最高2℃まで）設定室温を上げます。
暖房のとき	睡眠に適した温度になるよう、30分ごとに1℃（最高4℃まで）設定室温を下げます。





注意 ●切タイマーまたは切⇄入タイマー予約中に、おやすみ運転をセットすると、切タイマーがおやすみ運転に切換わります。

送風運転のしかた

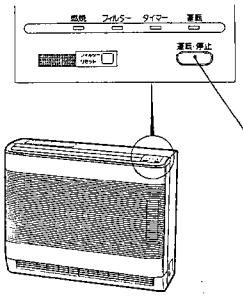


風だけを送る運転です。
部屋の空気を循環させたいときに運転します。

準備	電源プラグをコンセントに差し込みます。
1	運転切換 ボタンを押して、"送風" にします。
2	風速切換 ボタンを押して、お好みの風速にします。
3	運転/停止 ボタンを押します。 ●本体表示部の「運転」ランプが点灯し、送風運転を行ないます。
停止	運転/停止 ボタンをもう一度押します。

本体操作部での操作のしかた

リモコンを使わない運転のしかたです。



機器コード	増幅番号	通し番号	訂正番号
85008641	32	11	

準備	電源プラグをコンセントに差し込みます。
1	運転/停止 ボタンを押します。 ●「運転」ランプが点灯し、自動運転を行ないます。 (自動運転については10ページ参照)
停止	運転/停止 ボタンをもう一度押します。

注意 ●リモコンを操作して運転(暖房・ドライ・冷房・送風)を行い、停止した後に本体操作部で操作した場合には、前回の運転モードで運転します。

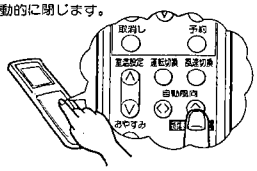
風向調節のしかた

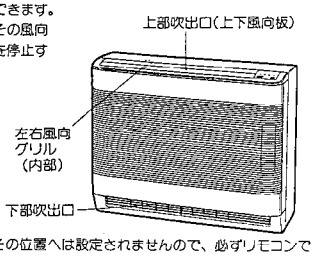
上部吹出口

上部吹出口は、"冷房"・"ドライ"時は冷風が、"暖房"・"送風"時は室温に近い風が吹き出します。

上下の風向調節 (冷房・送風・ドライ運転時)

自動風向 ◎ボタンを押すと上下風向板がスイングし、再度押すと上下風向板が止まります。
好みの角度でスイングを止め、お好みの風向きにできます。
お好みの風向きにしますと、次回からは自動的にその風向きになります。上部吹出口(上下風向板)は、運転を停止すると自動的に閉じます。





※上下風向板を手で操作したときは、次回運転時その位置へは設定されませんので、必ずリモコンで操作してください。(誤って上下風向板を手で閉じた場合は、一度運転を停止し、再運転すると開きます。)

(暖房運転時)
室温が設定室温になると上部吹出口が全開し、室温に近い風を"微風"で吹き出し、下部の吹出口からの温風感をおさえた"マイルド"な暖房を行います。
このとき上下の風向調節はできません。また上下風向板のスイングもいたしません。
上部からの送風を停止したいときは、自動風向 ◎ボタンを押してください。

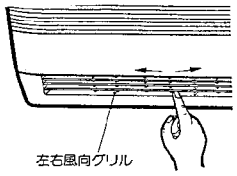
左右の風向調節

自動風向 ◎ボタンを押すと、左右風向グリルが左右にスイングします。
もう一度押すとスイングが止まりますので、お好みの風向きにできます。

下部吹出口

下部吹出口は、暖房時は温風が、冷房時は室温の風が吹き出します。
室内の状態や好みに合わせ、左右風向グリルを右または左に動かして調節してください。
※上下の風向調節はできません。

ご注意 暖房時は左右風向グリルの表面が熱くなっていますので、運転を止め、冷えてから行なってください。



使用上のご注意

★使用するガス(ガスグループ)・使用電源は、銘板に表示されているものにしてください。

・この機器(室内ユニット)は都市ガス用です。都市ガス12A・13A以外のガスでは使用しないでください。
・銘板に表示してある電源(電圧・周波数)以外の電源では使用しないでください。

★ガス漏れには充分ご注意ください。

・ガス漏れに気づいたときは、機器(室内ユニット)の運転を停止し、窓や戸を全部あけてから、もよりの東京ガスにご連絡ください。
・東京ガスの係員が処置するまでは、電気スイッチの「入」「切」や電源プラグの抜き差し、マッチ・ライターは絶対に使わないでください。

★燃えやすいものをそばに置いたり、近くで引火物を使わないでください。

・室内ユニットの上に衣類や毛布を置いたり、かぶせたりしないでください。またカーテンなど燃えやすいものを温風吹出口や空気吸込部に近づけないよう、また室内ユニット背面部にはさまないよう注意してください。
・ヘアスプレーなど引火物を近くで使用しないでください。

★やけどには充分ご注意ください。

・使用中や停止直後は、室内ユニットの温風吹出口や給排気トップ等は高温になっていますので、手を触れないでください。特に小さいお子様のいるご家庭では充分ご注意ください。
・温風の直接あたる場所におやすみにならないでください。特にお子様やお年寄り、病気の方にはご注意ください。(低温風でも連続的にあたりますと、低温やけどのおそれがあります。)

★室内ユニットや室外ユニットの吹出口や吸込口をふさがないでください。

・吹出口や吸込口をふさぐと、過熱し、火災や故障の原因になります。また、紙や布、異物を入れるとたいへん危険です。
・室外ユニットの吹出口や吸込口の前方に物を置きますと、機能低下や運転音の増大のもととなります。吹出口や吸込口の前方に物を置かないでください。

★室内ユニットの上に花ビン、コップなどを置かないでください。

・万一、水がこぼれると、感電のもとになりたいへん危険です。また、室内ユニットの上には腰かけたり、乗ったりしないでください。

★他の目的に使用しないでください。

・衣類などの乾燥に使用しないでください。

★停止時の注意

・停止は必ず 運転/停止 ボタンで行ってください。
電源プラグを抜いて停止すると、過熱して機器の寿命を縮めます。

★停電時の注意

・停電のときは使用できません。
ご使用中、万一停電したり、誤って電源プラグを抜いてしまったときは、通電後にもう一度運転操作をしてください。

★雷時の注意

・激しい雷により、一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。
電源プラグをコンセントから抜くと損傷を防止できます。

★冷房・ドライ運転時の注意

・室外ユニットにビニールカバーがしてある場合は、取り外してからお使いください。
・室温が20℃以下のときは、長時間の冷房・ドライ運転をしないでください。
冷房用熱交換器に霜がついたり機器の寿命を縮める原因になります。

★異常時の注意

・電源プラグやコードが異常に熱いとき、ブレーカーやヒューズがたびたび切れる、スイッチの動作が不確実なときなど、異常と思われたときは24ページの「故障かな?と思ったら」をご確認ください。
・なお異常のあるときは、お買上げの販売店、またはもよりの東京ガスにご連絡ください。

★機器を移設するときの注意

・転居、移設される場合は、調整や工事が必要です。
必ずお買上げの販売店、またはもよりの東京ガスにご相談ください。(費用は有料となります。)

★テレビ・ラジオなどを使用するときの注意

・テレビ・ステレオ・ラジオなどを近くで使用すると、映像が乱れたり雑音が入ったりすることがあります。1m以上離してお使いください。

★使用場所の注意

・毛足の長いじゅうたんの上に置く場合は、じゅうたんが変色することがありますので室内ユニットの下や温風のあたるところに敷板等を敷いてお使いください。

★電源プラグはしっかりと差し込んでください。

・プラグにゆるみがありますと漏電や過熱の原因になります。

★室温調節セット時の注意

・暖め過ぎ、冷し過ぎは健康上好ましくないばかりか電気・ガスのムダ使いになります。
一般的には暖房22℃、冷房27℃が快適といわれています。

★給気・排気の注意

・排気口から燃焼排ガスや水蒸気・凝縮水が出ますので、近くに危険物、可燃物、植木鉢や愛がん動物、腐食・汚染されて困るものは置かないでください。
・給気口、排気口に袋やあき缶などをかぶせたり、密閉状態になるようなカバーをしたまま使用しないでください。
・お子さまの衝突など大きな振動を与えたときは、安全のため給気筒・排気筒が外れていないか確認してください。

★コンセントの注意

・コンセントは専用のものをお使いください。

★給排気筒の外れには充分ご注意ください。

・室内ユニットに振動を与えないでください。給排気筒の外れの原因になります。
・給気筒・排気筒が外れているのに気付いたら使用をやめ、お買上げの販売店または最寄りの東京ガスへご連絡下さい。

アフターサービスについて

■サービスを依頼されるときは

●まず24ページの「故障かな？と思ったら」をご確認のうえ、なお異常のあるときはお買上げの販売店またはもよりの東京ガスにご連絡ください。

●アフターサービスをお申しつけのときは、次のことをお知らせください。

(1) お名前・ご住所・電話番号・道順(付近の目印なども)

(2) 品　名…HT-A3534FF　室内ユニット（機器コード8500864）
HT-A254　室外ユニット（機器コード9005437）
HT-A4034FF　室内ユニット（機器コード8507865）
HT-A284　室外ユニット（機器コード9003438）

(3) 現　象（表示ランプの状態など、できるだけ詳しく）

(4) 訪問希望日

機器コード							機番号	通し番号	訂正番号
8	5	0	0	8	6	4	1	3	2	2	1

■保証について

●取扱説明書の28ページが保証書になっています。
必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

●保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合、ご希望により有料で修理いたします。

■補修用性能部品の最低保有期間について

●補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は製造打切後9年です。

■転居または機器を移設される場合

●ガスの種類が異なる地域、または電源周波数の異なる地域へ転居される場合は、地域によっては使用できないガスがありますので、あらかじめお買い上げの販売店または転居先のガス会社にご相談ください。

●増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要になりますので、必ずお買上げの販売店またはもよりの東京ガスにご連絡ください。

●設置場所の選定にあたっては、機器(室内ユニット)の重量に十分耐える場所で、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。
また、室外ユニットの吹出口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。

■アフターサービス等についてわからないとき

●お買上げの販売店またはもよりの東京ガスにお問い合わせください。

長期間使用しない場合

暖房・冷房・ドライシーズンが終って、次のシーズンまで長期間保管しておく場合、P23のお手入れを行って、そのまま設置した状態で保管してください。
また、電源プラグはコンセントから抜いてください。

仕　様 …➡

			HT-A3534FF ガスルームエアコン	HT-A4034FF ガスルームエアコン
暖房関係	品名			
	型式の呼び		GHC-3534	GHC-4034
	種類	燃焼方式	密閉燃焼方式	
		給排気方式	強制給排気方式	
		熱交換方式	強制対流方式	
	点火方式		連続放電点火方式	
	使用ガス		都市ガス	
			13A	12A / 13A / 12A
	ガス消費量		4884W(4,200Kcal/h)	4535W(3,900kcal/h) / 5581W(4,800kcal/h) / 5233W(4,500kcal/h)
	暖房能力		4070W(3,500kcal/h)	3779W(3,250kcal/h) / 4651W(4,000kcal/h) / 4360W(3,750kcal/h)
	暖房のめやす	一般木造	10～20㎡(6～12畳)	12～22㎡(7～13畳) / 15～30㎡(9～18畳) / 17～33㎡(10～20畳)
		鉄筋・鉄骨 断熱施工の木造	15～30㎡(9～18畳)	17～33㎡(10～20畳)
	外形寸法		幅795㎜×高さ620㎜×奥行265㎜	
	重量(本体)		31kg	31kg
	電気関係	電源	単相100V 50/60Hz	
		消費電力	50／50W	51／51W
		電源コードの長さ	2m	
	ガス接続		両端迅速継手付強化型小口径ガスホース	
	給排気筒トップ		長さ：壁厚115～240㎜まで取付け可能	
			壁貫通部穴径：80㎜	
	排気管最大延長		3m2曲	
	排気温度		約180℃	
	安全装置		立消安全装置(フレームロッド式)・過熱防止装置・過電流保護装置・停電安全装置	
タイマー			24時間デジタル式「入」「切」1,2,3,7おやすみ(冷・暖房兼用)	
付属品			取扱説明書(保証書付)	
冷房関係	室外ユニット	品名	HT-A254	HT-A284
		型式名	HT-A254	HT-A284
	電気関係	電源	単相100V 50/60Hz(室内、室外)	
		運転電流	12.6A(最大13.3A)	15A(最大16.5A)
		消費電力	1130W	1350W
	冷房能力		2.8KW(3.0～1.6KW)	3.2KW(3.5～1.6KW)
	冷房のめやす		13～19㎡(8～12畳)	15～23㎡(9～14畳)
	外形寸法		幅795㎜×高さ520㎜×奥行250㎜	
	重量		36kg	36kg
	冷媒配管	貫通壁厚	200㎜	
		貫通穴径	65㎜	
		長さ	室内：0.9m	
	安全装置		3分遅延タイマー	
	延長配管		別売	

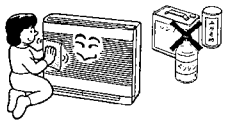
ご注意：暖房のめやす、冷房のめやすは、東京地区の例を示します。

日常の点検とお手入れ

●機器の冷えているときに、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
●エアーフィルター以外の部分は絶対に分解なさらないでください。

機器外装およびリモコンのお手入れ

吹き出しグリル、機器の外装などは、汚れがひどくならないうちにお手入れしてください。
お手入れは、やわらかい布をぬるま湯にひたし、よくしぼったものでふきます。
リモコンは、からぶきします。



注意
●ベンジン、シンナー、クレンザーなどは使わないでください。塗装面やプラスチックをいためます。
●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

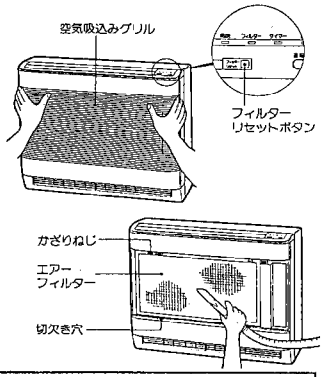
エアーフィルターのお手入れ

暖房時、機器が過熱しそうなときや、冷房・送風・ドライ運転を約100時間行うと、フィルターランプが点灯します。フィルターランプが点灯しましたら、エアーフィルターを掃除してください。
エアーフィルターにホコリがたまり、空気の通りが悪くなると、冷・暖房効果が悪くなるばかりか、そのままの状態でお使いになると異常過熱の原因となって、運転が自動的に停止することがあります。

〈お手入れの順序〉

エアーフィルターは、空気吸い込みグリルの内側に、かざりねじで固定されています。

①空気吸い込みグリル上方の 押す 2カ所を軽く押して、空気吸い込みグリルを取り外します。
②エアーフィルターを点検し、ホコリだまりや汚れなどがあるときは、電気掃除機で落します。汚れがひどい場合はエアーフィルターを外し、かためのブラシ等で掃除します。(固定している「かざりねじ」を十円硬貨等で回せば外れます。)
外した場合は、必ず元どおりに取付けます。
③空気吸い込みグリル下方の「ツメ」をフロントカバーの切欠き穴に差し込み、上方の両側を持って軽く押し込みます。
④本体操作部の「フィルターリセット」ボタンを押します。



注意
●エアーフィルターの水洗いはおやめください。錆びることがあります。
●エアーフィルターは必ず取付けてください。
エアーフィルター無しで運転すると故障することがあります。

故障かな？と思ったら

次のことを調べてください

状況	点検事項
運転しないとき	①電源プラグがコンセントにしっかり入っていますか。 ②ご家庭のヒューズやブレーカーが切れていませんか。 ③停電ではありませんか。 ④給気口・排気口がカバーなどでふさがれていませんか。(暖房時) ⑤リモコンの電池が切れていませんか。 ⑥室温設定が現在室温よりも低くなっていませんか。(暖房時)
よく暖まらないとき、または、よく冷えないとき	①エアーフィルターにホコリが詰まっていませんか。 ②設定室温が適正な温度になっていますか。 ③室内ユニットの空気吸い込みグリルや冷温風吹出口が障害物でふさがれていませんか。 ④室外ユニットにビニールカバーがかけてあったり、周囲に空気の流れを妨げる障害物がありませんか。(冷房・ドライ時) ⑤部屋の窓や戸があいていませんか。 ⑥冷温風吹出口の風向板、グリルが適正な向きになっていますか。 ⑦風速切換の表示が「微」になっていませんか。
変な音がするとき	給気口・排気口がカバーなどでふさがれていませんか。(暖房時)

次のような現象は故障ではありません

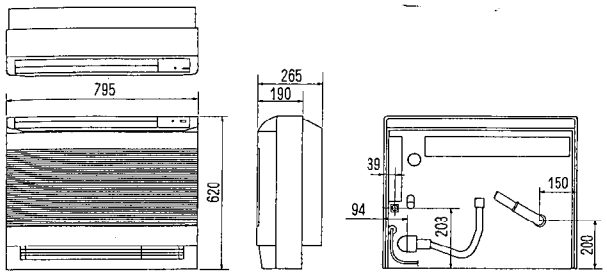
	現象	理由と処置
暖房時	シーズン始めや長時間運転しなかった後、なかなか燃焼ランプがつかない。	ガス配管内に空気が入っているためです。空気が抜けガスが出て、燃焼ランプがつくまで運転操作を繰り返してください。
	初めて運転したときや、シーズン始めには、煙やにおいがでる。	内部の熱交換器などに付着している油やホコリが焼けるためです。しばらく換気しながらご使用ください。
	運転中に「カチン」と音がする。	室温調節をするための電磁弁(電気で開閉するガス弁)、リレーなどの作動音です。
	部屋が乾燥する。	部屋の温度が上がると相対湿度が下がるためです。市販の加湿器等で加湿してください。
	点火後や消火後にキシミ音がでる。	熱交換器などが加熱や冷却される際に金属が膨張・収縮して起こる音で、故障ではありません。
	運転してもすぐに温風が出てこない。	約20秒ほどして機器内部が暖まると、自動的に温風が出はじめます。(冷風を出さない処置です。)
	停止してもすぐに温風ファンが停止しない。	約1.5分程度機器内部を冷やしてから自動的に止まります。
冷房時	水の流れるような音がする。	冷房に使用する液(冷媒)が流れる音です。
	冷温風吹出口から霧が出ているように見える。	低温多湿時に見られる現象で、部屋の空気が冷風で冷やされて霧になるためです。
	においがでる。	空気中に含まれたたばこの煙、化粧品、食品などのにおいが機器に付着し、それが吹き出すためです。

なお、異常のあるときや、おわかりにならないときには、お買い上げの販売店または最寄りの「東京ガス」にご連絡ください。不完全な処置は事故のもとになります。

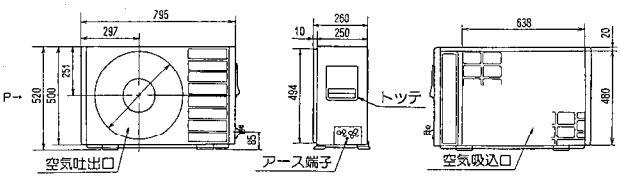
●外形寸法（単位：mm）

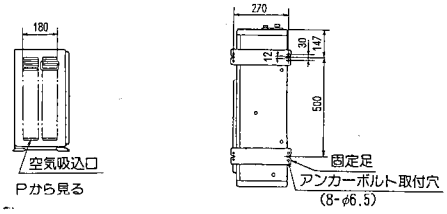
機器コード							構成番号		通し番号		訂正番号
8	5	0	0	8	6	4	1	3	2	3	1

室内ユニット



室外ユニット





保証書

型式名	（室内ユニット）	（室外ユニット）
	GHC-3534	+ HT-A254
	GHC-4034	+ HT-A284

品名	（室内ユニット）	（室外ユニット）	
	HT-A3534FF	+ HT-A254	ガスルームエアコン
	HT-A4034FF	+ HT-A284	

上記機器をお買い上げいただきましてありがとうございます。
この保証書は東京ガス供給区域内において都市ガス用として、ご使用になる場合本証書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

(1) 保証期間はお買い上げの日から3年間とし、機器本体を対象とします。
付属品は対象外です。
(2) 万一故障の場合はお買い上げの店、もしくはもよりの東京ガスへお申し出ください。
(3) サービス員が参上した時に本証書をお示しください。
(4) 保証期間中でありましても次の場合には有料修理といたします。
(イ) 取扱説明書によらないでご使用になり故障した場合
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷
(ハ) 火災、天災、地変等による故障、その他不可抗力による故障
(ニ) お買い上げの店、あるいは東京ガスに、ご連絡なしに改造された場合の故障
(ホ) 機器に表示してある以外のガスでご使用のため改造された場合。
ただし、当社都合の場合はのぞきます。
(ヘ) 本証書を紛失された場合
(5) 無料修理やアフターサービス等について、ご不明の場合はお買い上げの店または、もよりの東京ガス支社・営業所にお問い合わせください。

保証責任者　東京ガス株式会社　東京都港区海岸1丁目5番20号
電話 (03)3433－2111

ガスルームエアコン
取扱説明書　別冊

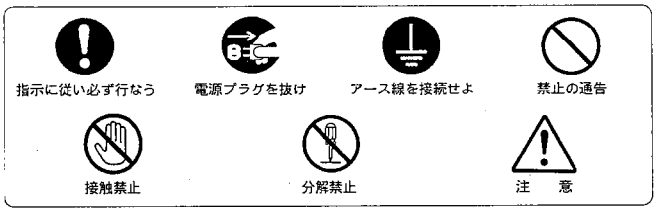
TOKYO GAS

機器コード						情報番号		通し番号		訂正番号
8	5	0	0	8	6	4	1	3	2	4	1

安全のため必ずお守りください

- ご使用前に、この説明書「安全のため必ずお守りください」を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに「取扱説明書」とともに、必ず保管してください。
- 表示と記号の意味は次のとおりになっています。

⚠危険	この表示は、誤った取扱いをすると、火災や死亡・重傷などの危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示は、誤った取扱いをすると、火災や死亡・重傷などの可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示は、誤った取扱いをすると、傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

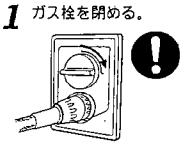


⚠危険

ガス漏れに注意

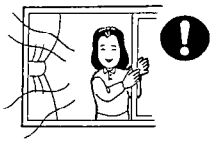
ガス漏れに気づいたら絶対に電源プラグの抜き差し、電気器具のスイッチの「入・切」、ライターなどの使用はおやめください。爆発の危険があります。

1 ガス栓を閉める。



開閉つまみのない「ガスコンセント」はガスコードのソケットを「ガスコンセント」から外す。

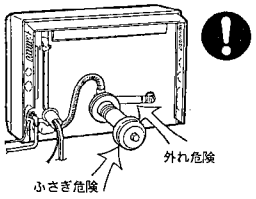
2 窓や戸を開ける。



3 お買上げの販売店か最寄りのガス会社へ連絡する。

給排気筒のはずれに注意

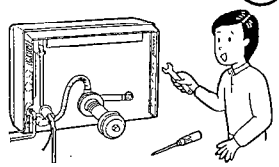
給排気筒(管・ホース)が正しく接続されているか、または、給排気筒トップ先端部がふさがれていないか確認する。



- 外れていたり、ふさがれていると、運転中に排ガスが室内に漏れ、一酸化炭素中毒の原因となります。

⚠警告

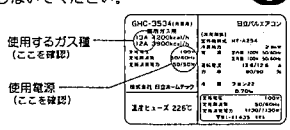
自分で設置工事をしない



- 工事に不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。

使用ガス・電源について

銘板表示以外のガス種・電源を使用しないでください。

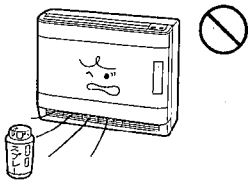


- ガス種や電源が一致しないと、不完全燃焼により一酸化炭素中毒になったり、爆発点火や機器の故障となる場合があります。

⚠警告

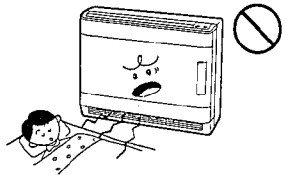
スプレー缶厳禁

スプレー缶を温風のあたるところに放置しない。



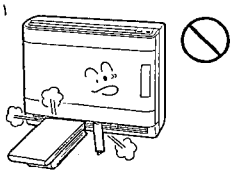
- スプレー缶爆発の原因になります。

温風を長時間、直接体にあてない



- 低温やけどや脱水症状になるおそれがあります。
- お子様や体の不自由な方を温風に直接あたる場所に寝かせないでください。

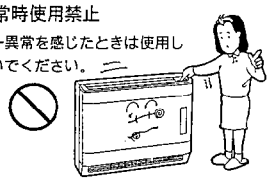
温風吹出口や空気吸込口に紙、布、異物などを入れたり、開口部をふさいだりしない



- こげて臭いがしたり、温風の吹出しや空気の吸込みが阻害されて、異常過熱の原因となります。

異常時使用禁止

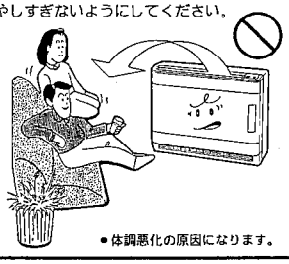
万一異常を感じたときは使用しないでください。



- 異常燃焼のおそれがあります。
- 使用中に異常を感じたり、地震などの緊急の場合は、あわてずに消火してください。
- 修理する必要がある場合は、お買い上げの販売店に相談してください。

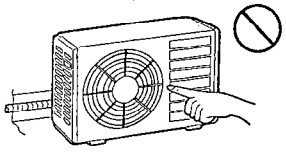
冷風を長時間、直接体にあてない

冷やしすぎないようにしてください。



- 体調悪化の原因になります。

室外ユニット・室外ユニットの吸込口・吹出口に指や棒などを入れない



- 内部でファンが高速で回転しており、けがの原因になります。

⚠警告

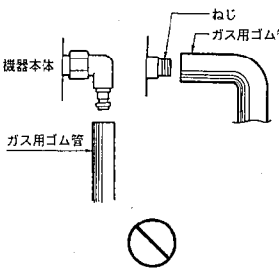
引火物を近づけない

器具や給排気筒トップの周囲には危険物（ガソリン・シンナー・スプレーなど引火しやすいもの）を近づけない。

●爆発、引火のおそれがあります。

ガス接続は正しく

ガス接続具は正しいものをお買い上げの販売店に取付けてもらってください。

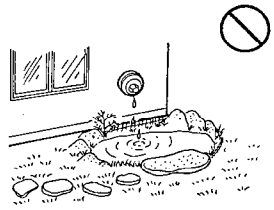


ゴム管使用禁止

⚠注意

燃焼排ガスと疑縮水に注意

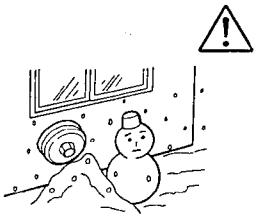
給排気筒トップの近くに危険物、可燃物を置かないでください。
また、給排気筒トップは、池の上などに設置しないでください。



●給排気筒トップからの疑縮水が池に落ち、池の中の動物に悪影響をおよぼすおそれがあります。

給排気筒トップ閉そく注意

積雪の多い地方では、給排気筒トップを雪でふさがないように注意してください。

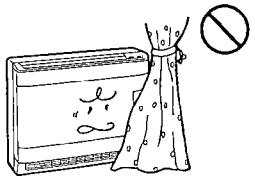


●排ガスを再度吸込んで、不完全燃焼を起こすことがあります。

機器コード							情報番号		選し番号		訂正番号
8	5	0	0	8	6	4	1	3	2	5	1

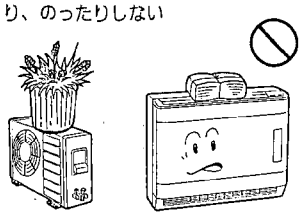
⚠注意

カーテンなど可燃物を温風吹出口や排気筒に近づけない



●過熱により火災の原因になります。

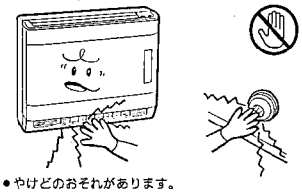
室内、室外ユニットの上に物をのせたり、のったりしない



●落下、転倒等により、けがの原因になります。

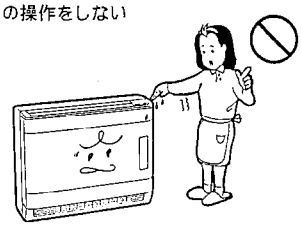
高温部に注意

燃焼中や消火直後は、高温部（温風吹出口・給排気筒トップ）に手などふれないように注意してください。



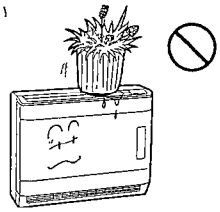
●やけどのおそれがあります。

器具の水洗い、濡れた手でのスイッチの操作をしない



●感電の原因になります。

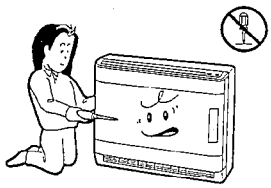
器具の上に花びんなど水の入った容器をのせない



●内部に浸水するおそれがあり、電気絶縁劣化により、漏電や感電の原因になります。

分解修理の禁止

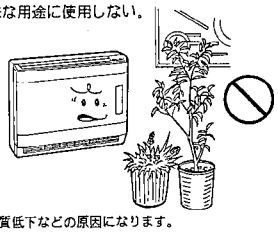
不完全な修理や改造は危険です。
故障、破損したときは使用しないでください



⚠注意

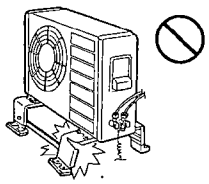
他の目的に使用しない

食品、動植物、精密機械、美術品の保存等、特殊な用途に使用しない。



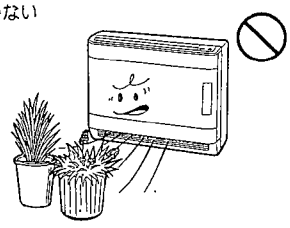
●品質低下などの原因になります。

据付台が傷んだ状態で放置しない



●傷んだ状態で放置すると、ユニットの落下につながり、けがの原因になります。

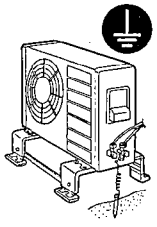
直接風が当たる場所には、動植物を置かない



●動植物に悪影響をおよぼす原因になります。

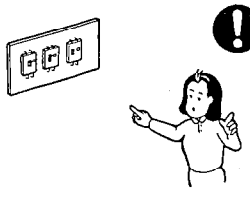
アースが正しく接続されているか確認する

アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線には接続しないでください。



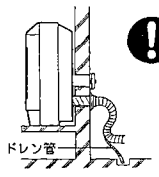
●アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

設置場所によっては漏電ブレーカーを取付ける



●感電の原因になることがあります。

ドレン管が的確に配管されているか確認する



●ドレン管が折れたり、つぶれたりしていると、ドレン水が室内に流れ出し、家具等を濡らすことがあります。

⚠注意

	電源コードは、破損させたり、加工したりしないこと。 ●感電や火災の原因になります。
	濡れた手で電源プラグにさわらないこと。 ●感電の原因になります。
	電源コードは、途中で接続したり、延長コードの使用、他の電気器具とのタコ足配線をしないこと。 ●感電や発熱・火災の原因になります。
	電源プラグは、がたつきのないように刃の根元まで確実に差し込むこと。また、ほこりが付着していないか確認すること。 ●接続が不完全だったり、ほこりが付着したりすると、感電や火災の原因になります。
	電源プラグは、必ずプラグを持って抜くこと。 ●コードを引っ張ると断線して、発熱や発火の原因となります。
	長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜くこと。 ●ほこりがたまって発熱や発火の原因になります。

お願い

この器具は一般家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。
●もし業務用にお使いになりますと、著しく器具の寿命を縮めます。